

Ⅱ 令和6年(2024 年)鉱工業指数の動向

1 概 況

(1) 生産動向 — 生産指数は低下 —

令和6年の生産指数(原指数)は、前年比▲1.5%の99.1となり、3年連続で低下した。四半期別にみると季節調整済指数は、Ⅰ期は前期比▲5.9%で95.8、Ⅱ期は同7.1%の上昇となり102.6、Ⅲ期は同▲3.2%で99.3、Ⅳ期は同▲1.2%で98.1となった。

また原指数は、Ⅰ期95.4(前年同期比▲8.3%)、Ⅱ期101.2(同4.8%)、Ⅲ期97.6(同1.1%)、Ⅳ期102.3(同▲2.8%)と、令和6年Ⅱ期に10期ぶりに前年を上回った。

(図1、表1、図2、図3、統計表第1表、統計表第3表)

年間指数を業種別にみると、製造工業13業種中、窯業・土石製品工業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業などの9業種が低下し、輸送機械工業、化学工業、電気機械工業などの4業種が上昇した。

(表2、図4、表3、図5、図6、詳細は「2 業種別動向」を参照)

年間指数の財用途別生産指数(原指数)は、最終需要財が前年比2.2%の上昇で103.2となり、生産財が同▲4.5%で95.7となったことにより、全体で同▲1.5%で99.1となった。

最終需要財は、投資財(寄与度▲0.03)が同▲0.1%で99.4となり、消費財(寄与度1.00)が同4.9%の上昇で108.0となったことにより、全体では同2.2%の上昇で103.2となった。

生産財は、鉱工業用生産財(寄与度▲2.35)が同▲4.5%で96.4となった。

(表4、図7、統計表第2表)

図1 鉱工業指数(四半期季節調整済 令和2年=100)

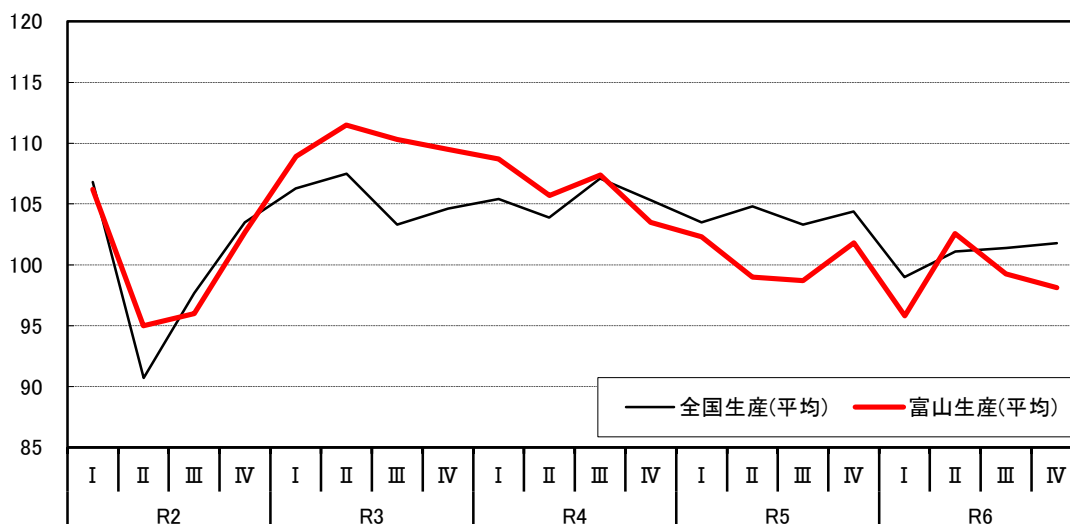


表1 鉱工業生産指数の推移

令和2年=100

	富 山			全 国		
	指 数	前 年 比 (%)	前 期 比 (%)	指 数	前 年 比 (%)	前 期 比 (%)
暦年推移(原指数)						
令和2年	100.0	▲ 9.9	－	100.0	▲ 10.4	－
3年	110.2	10.2	－	105.4	5.4	－
4年	106.2	▲ 3.6	－	105.3	▲ 0.1	－
5年	100.6	▲ 5.3	－	103.9	▲ 1.3	－
6年	99.1	▲ 1.5	－	101.2	▲ 2.6	－
令和6年四半期別推移(季節調整済指数)						
I 期	95.8	－	▲ 5.9	99.0	－	▲ 5.2
II 期	102.6	－	7.1	101.1	－	2.1
III 期	99.3	－	▲ 3.2	101.4	－	0.3
IV 期	98.1	－	▲ 1.2	101.8	－	0.4

注：全国指数は「経済産業省 鉱工業指数」から転載

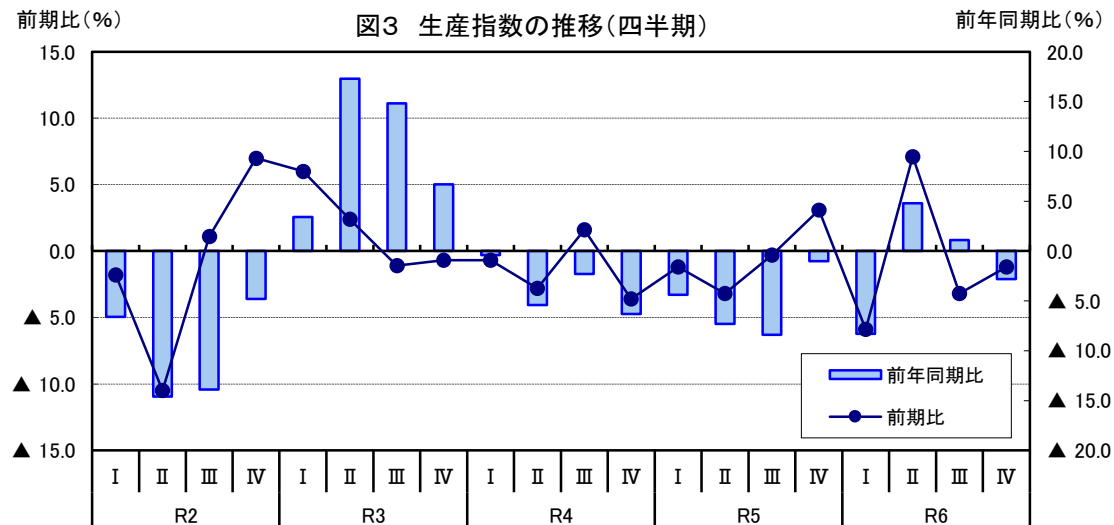
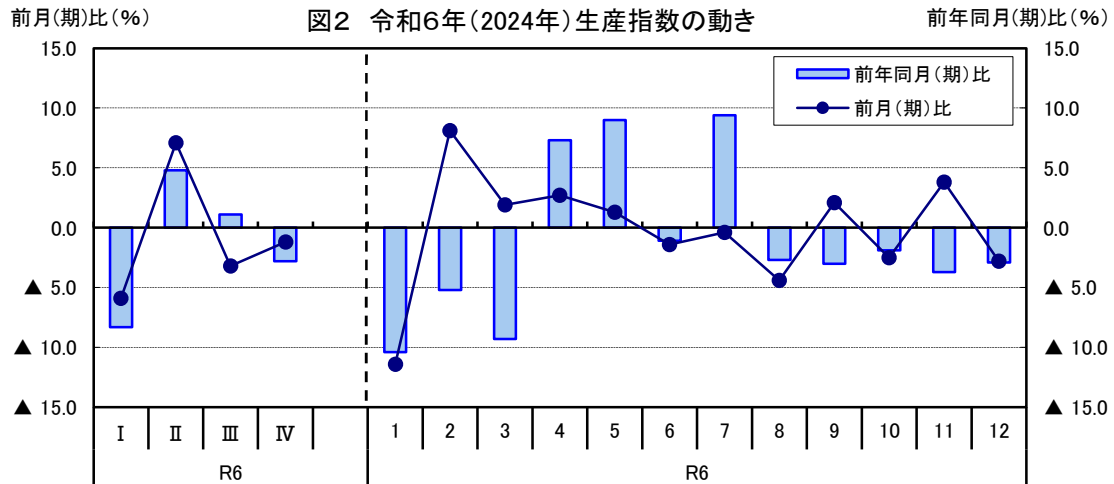


表2 生産指数(年平均)

令和2年=100

	富山県	年平均指数(原指数)		前年比 (%)	寄与度 (%ポイント)	全国(参考)
	ウェイト	令和5年	令和6年			ウェイト
鉱工業	10000.0	100.6	99.1	▲ 1.5	▲ 1.49	10000.0
製造工業	10000.0	100.6	99.1	▲ 1.5	▲ 1.49	9983.5
鉄鋼業	370.5	93.0	87.4	▲ 6.0	▲ 0.21	341.7
非鉄金属工業	607.4	105.4	102.5	▲ 2.8	▲ 0.18	254.8
金属製品工業	1163.3	105.2	97.7	▲ 7.1	▲ 0.87	452.5
汎用・生産用・業務用機械工業	1731.4	104.2	100.0	▲ 4.0	▲ 0.72	1451.9
電気機械工業	1199.3	86.9	87.9	1.2	0.12	674.2
輸送機械工業	264.8	119.4	139.3	16.7	0.52	1502.4
窯業・土石製品工業	298.9	114.9	104.7	▲ 8.9	▲ 0.30	352.8
化学工業	2097.3	98.5	101.4	2.9	0.60	1233.0
医薬品	1415.3	103.2	110.9	7.5	1.08	218.7
プラスチック製品工業	730.7	93.2	93.4	0.2	0.01	464.7
パルプ・紙・紙加工品工業	337.9	107.7	101.1	▲ 6.1	▲ 0.22	236.5
繊維工業	159.8	101.9	97.3	▲ 4.5	▲ 0.07	150.1
食料品工業	507.9	100.2	99.6	▲ 0.6	▲ 0.03	1377.9
その他工業	530.8	105.7	103.4	▲ 2.2	▲ 0.12	693.9

$$\text{※寄与度} = \frac{(\text{当年業種指数} - \text{前年業種指数}) \times \text{業種ウェイト}}{\text{前年鉱工業指数} \times \text{鉱工業ウェイト}} \times 100$$

前年比(%) 図4 業種別生産指数対前年比(原指数)の推移

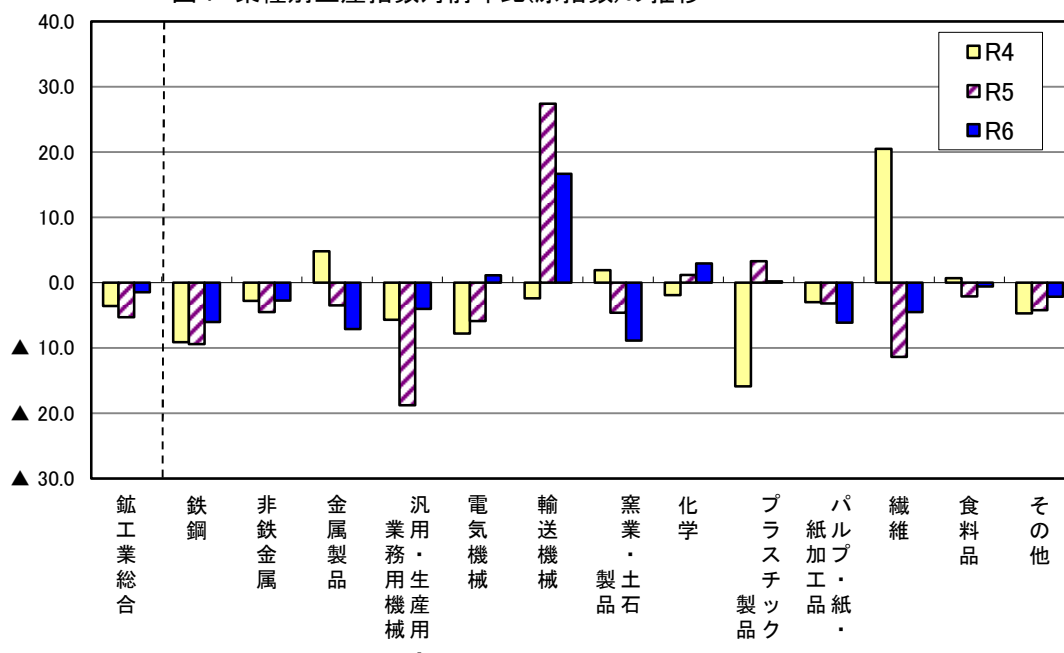


表3 業種別生産指数上昇・低下一覧(寄与度の高い順)

	業 種	寄与度(%ポイント)	主な増加品目	主な減少品目
低下業種	金属製品工業	▲ 0.87	-	建築用金属製品
	汎用・生産用・業務用機械工業	▲ 0.72	ロボット・産業機械	
	窯業・土石製品工業	▲ 0.30	その他窯業・土石製品	
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.22	-	紙加工品
	鉄鋼業	▲ 0.21	-	素製品(鋼半製品含)
	非鉄金属工業	▲ 0.18	その他非鉄金属製品	非鉄金属圧延製品
	その他工業	▲ 0.12		木材・木製品工業
	繊維工業	▲ 0.07	-	衣類
	食料品工業	▲ 0.03	畜産食料品	その他の食料品
上昇業種	プラスチック製品工業	0.01	プラスチック製フィルム・シート	プラスチック製容器
	電気機械工業	0.12	その他電気機械	電子部品
	輸送機械工業	0.52		
	化学工業	0.60	医薬品	その他化学製品

※空欄は当該品目が秘匿値のため公表しません。「-」は該当品目がない項目です。

図5 業種別生産指数前年比と寄与度

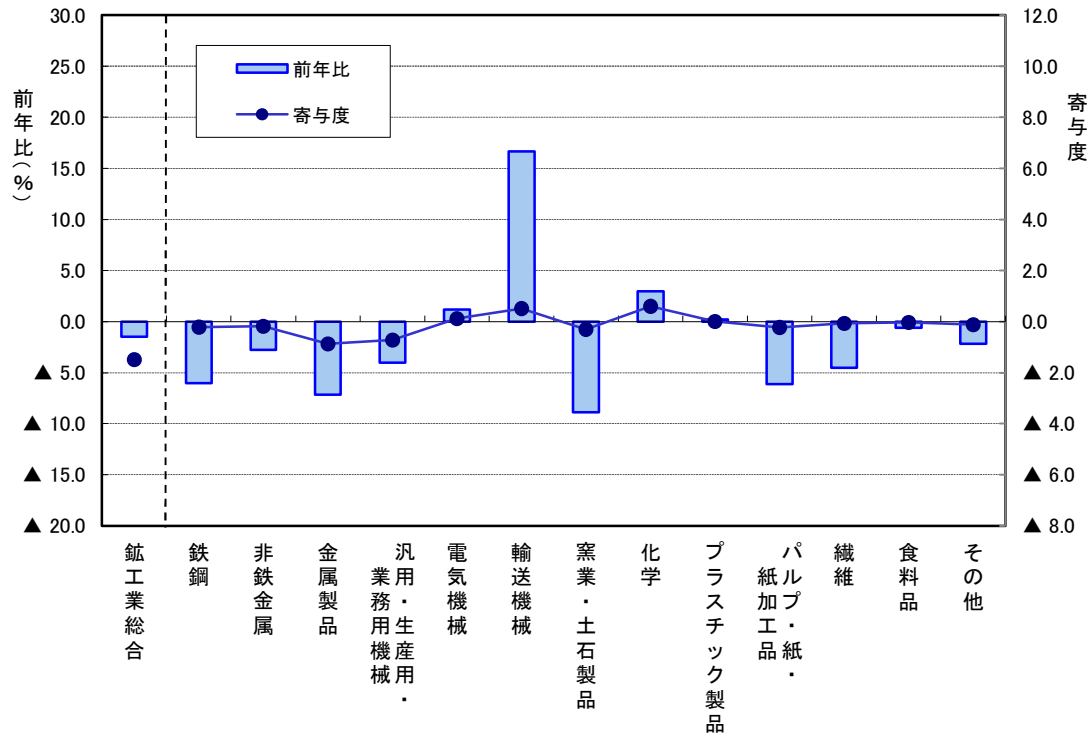


図6 生産指数(四半期季節調整済 令和2年=100)の推移

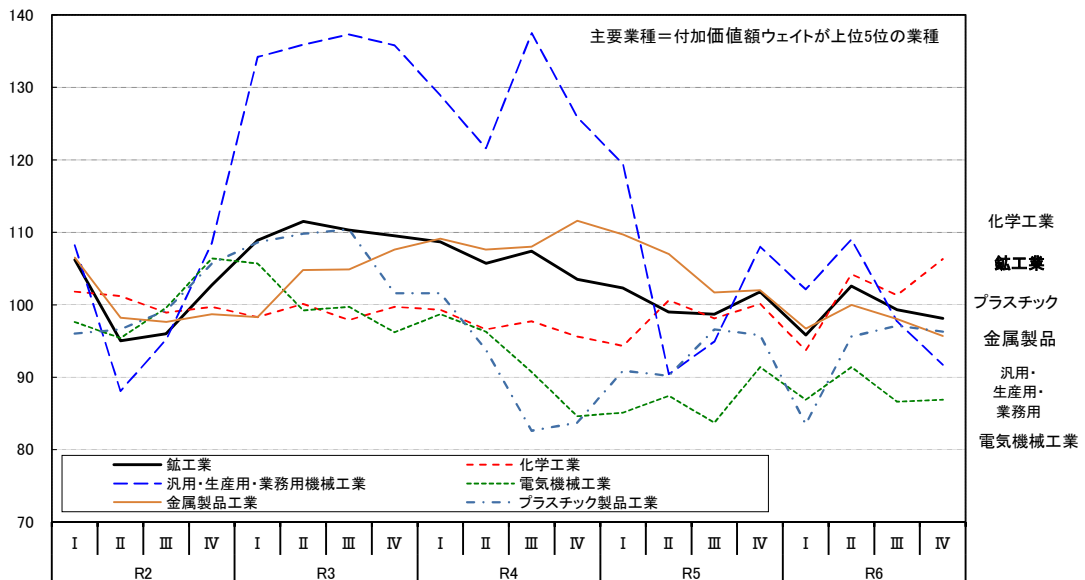


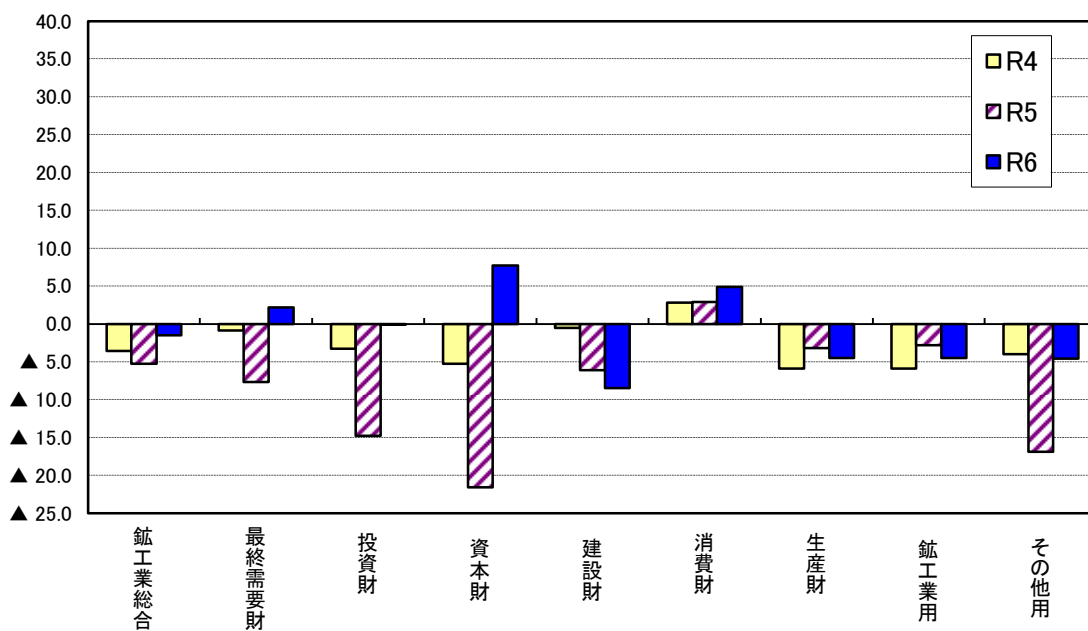
表4 生産指数（財用途分類・年平均）

令和2年=100

	ウェイト (万分比)	年平均指数(原指数)		前年比 (%)	寄与度 (%ポイント)
		5年	6年		
鉱工業	10000.0	100.6	99.1	▲ 1.5	▲ 1.49
最終需要財	4550.4	101.0	103.2	2.2	1.00
投資財	2536.9	99.5	99.4	▲ 0.1	▲ 0.03
資本財	1292.4	101.3	109.1	7.7	1.00
建設財	1244.5	97.6	89.3	▲ 8.5	▲ 1.03
消費財	2013.5	103.0	108.0	4.9	1.00
耐久消費財	22.1	135.2	137.3	1.6	0.00
非耐久消費財	1991.4	102.7	107.7	4.9	0.99
生産財	5449.6	100.2	95.7	▲ 4.5	▲ 2.44
鉱工業用生産財	5255.4	100.9	96.4	▲ 4.5	▲ 2.35
その他用生産財	194.2	79.8	76.1	▲ 4.6	▲ 0.07

前年比(%)

図7 財用途別生産指数対前年比(原指数)の推移



（２）在庫動向 — 在庫指数は低下 —

令和５年の在庫指数（原指数）は、前年末比▲1.9%で 100.8 となり、４年ぶりに低下した。

四半期別季節調整済指数は、Ⅰ期は前期比▲4.2%で 101.6、Ⅱ期は同 0.4%の上昇で 102.0、Ⅲ期は同▲1.5%で 100.5、Ⅳ期は同 2.7%の上昇で 103.2 と、上昇と低下を繰り返した。

また原指数は、Ⅰ期 103.5（前年同期末比▲3.5%）、Ⅱ期 103.4（同▲3.6%）、Ⅲ期 100.0（同▲5.6%）、Ⅳ期 100.8（同▲1.9%）と４期連続で前年を下回った。

（図 8、表 5、図 9、図 10、統計表第 4 表）

年間指数を業種別にみると、製造工業 13 業種中、窯業・土石製品工業、食料品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、など 10 業種が低下し、化学工業、プラスチック製品工業、繊維工業の 3 業種が上昇した。

（表 6、図 11、表 7、図 12、図 13、詳細は「２ 業種別動向」を参照）

年間指数の財用途別在庫指数（原指数）は、最終需要財が前年末比 10.5%の上昇で 112.2 となったが、生産財が同▲9.7%で 93.5 となり、全体で同▲1.9%の 100.8 となった。

最終需要財では、投資財（寄与度 0.82）が同 9.7%の上昇で 107.5 となり、消費財（寄与度 3.19）が同 10.7%の上昇で 113.6 となり、全体で同 10.5%の上昇で 112.2 となった。

生産財では、鉱工業用生産財（寄与度▲5.47）が同▲9.3%で 93.7 となり、全体で同▲9.7%で 93.5 となった。

（表 8、図 14）

図 8 鉱工業指数(四半期季節調整済 令和2年=100)

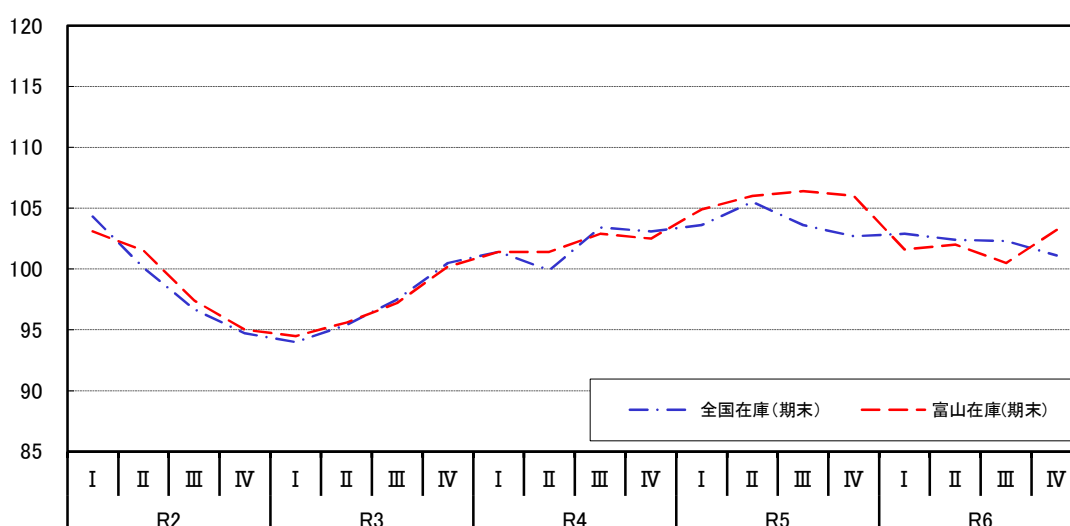


表5 鋳工業生産者製品在庫指数の推移

令和2年=100

	富 山			全 国		
	指 数 年(期)末	前年末比 (%)	前期末比 (%)	指 数 年(期)末	前年末比 (%)	前期末比 (%)
暦年推移(原指数)						
令和2年	92.5	▲ 6.3	－	92.6	▲ 8.3	－
3年	97.6	5.5	－	98.5	6.4	－
4年	99.7	2.2	－	101.2	2.7	－
5年	102.8	3.1	－	100.7	▲ 0.5	－
6年	100.8	▲ 1.9	－	98.8	▲ 1.9	－
令和6年四半期別推移(季節調整済指数)						
I 期	101.6	－	▲ 4.2	102.9	－	0.2
II 期	102.0	－	0.4	102.4	－	▲ 0.5
III 期	100.5	－	▲ 1.5	102.3	－	▲ 0.1
IV 期	103.2	－	2.7	101.1	－	▲ 1.2

注:全国指数は「経済産業省 鋳工業指数」から転載

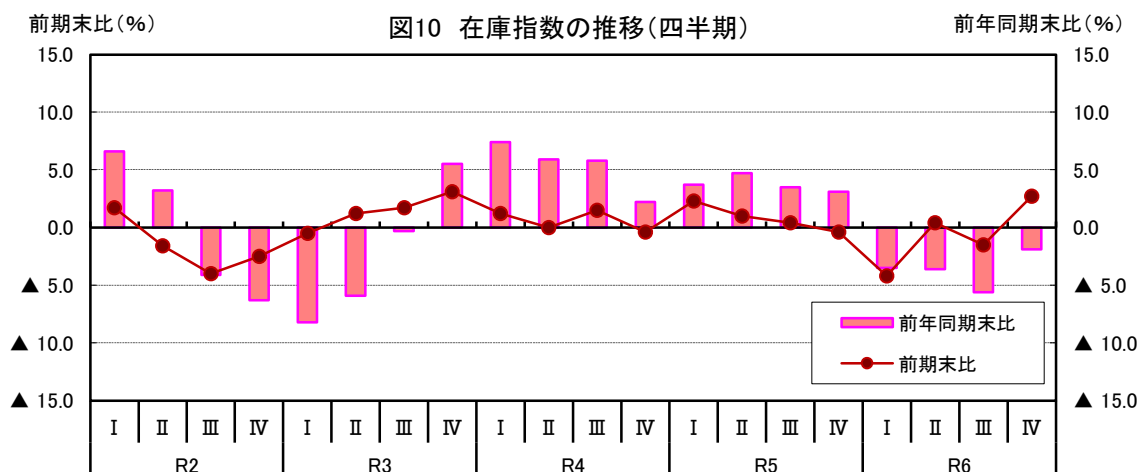
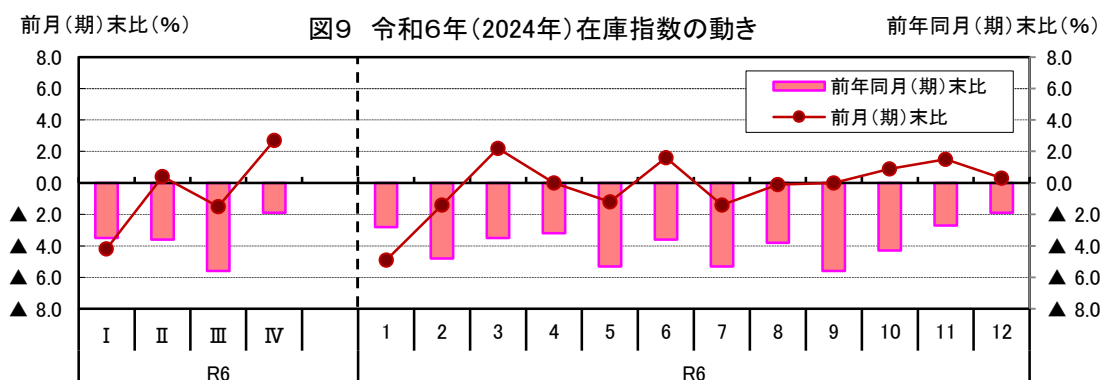


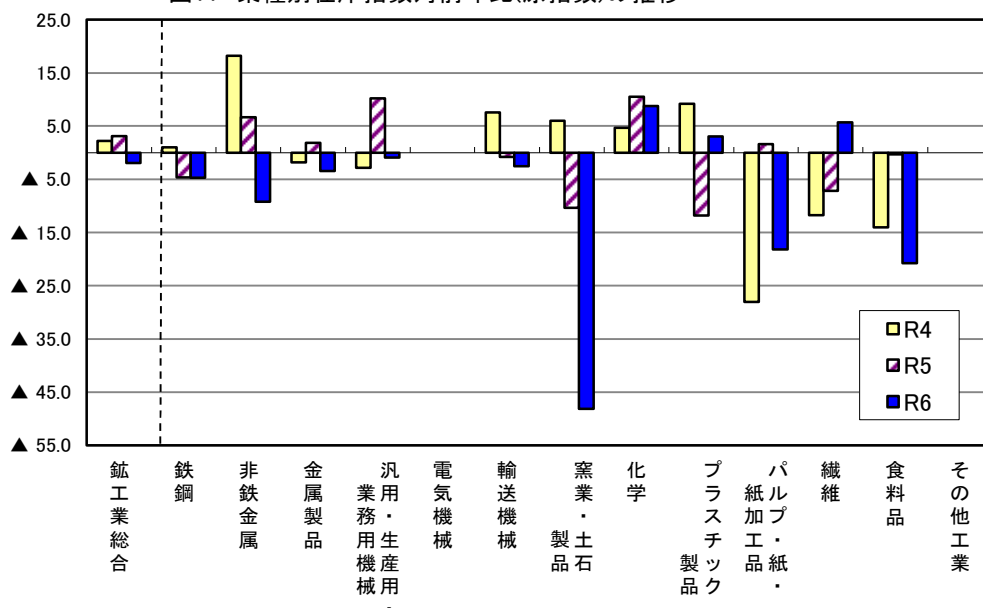
表6 在庫指数(年末)

令和2年=100

	富山県 ウェイト	年末指数(原指数)		前年末比 (%)	寄与度 (%ポイント)	全国(参考) ウェイト
		令和5年	令和6年			
鉱工業	10000.0	102.8	100.8	▲ 1.9	▲ 1.95	10000.0
製造工業	10000.0	102.8	100.8	▲ 1.9	▲ 1.95	9985.0
鉄鋼業	478.9	90.4	86.1	▲ 4.8	▲ 0.20	1209.0
非鉄金属工業	370.0	126.8	115.1	▲ 9.2	▲ 0.42	329.6
金属製品工業	477.6	102.5	99.0	▲ 3.4	▲ 0.16	469.3
汎用・生産用・業務用機械工業	1836.3	106.1	105.1	▲ 0.9	▲ 0.18	1270.3
電気機械工業	649.4	X	X	X	X	480.9
輸送機械工業	185.8	121.9	118.8	▲ 2.5	▲ 0.06	606.2
窯業・土石製品工業	221.4	92.1	47.8	▲ 48.1	▲ 0.95	440.2
化学工業	3557.6	106.1	115.4	8.8	3.22	1894.2
医薬品	1999.8	112.8	131.9	16.9	3.72	-
プラスチック製品工業	616.3	102.3	105.4	3.0	0.19	432.8
パルプ・紙・紙加工品工業	498.6	80.4	65.8	▲ 18.2	▲ 0.71	300.8
繊維工業	230.7	75.3	79.6	5.7	0.10	221.4
食料品工業	540.6	68.0	53.9	▲ 20.7	▲ 0.74	978.4
その他工業	336.8	X	X	X	X	577.0

$$\text{※寄与度} = \frac{(\text{当年業種指数} - \text{前年業種指数}) \times \text{業種ウェイト}}{\text{前年鉱工業指数} \times \text{鉱工業ウェイト}} \times 100$$

前年比(%) 図11 業種別在庫指数対前年比(原指数)の推移



※電気機械工業、その他工業の在庫指数は秘匿値のため公表しません。

表7 業種別在庫指数上昇・低下一覧(寄与度の高い順)

	業 種	寄与度(%ポイント)	主な増加品目	主な減少品目
低下業種	電気機械工業	X		
	窯業・土石製品工業	▲ 0.95	セメント製品	
	食料品工業	▲ 0.74		飲料
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.71	-	
	非鉄金属工業	▲ 0.42		
	その他工業	X		
	鉄鋼業	▲ 0.20	素製品(鋼半製品含)	熱間圧延鋼材
	汎用・生産用・業務用機械工業	▲ 0.18		
	金属製品工業	▲ 0.16		建築用金属製品
	輸送機械工業	▲ 0.06	-	自動車部品
上昇業種	繊維工業	0.10	衣類	織物
	プラスチック製品工業	0.19		その他プラスチック製品
	化学工業	3.22	医薬品	その他化学製品

※空欄は該当品目が秘匿値のため公表しません。「-」は該当品目がない項目です。

図12 業種別在庫指数前年末比と寄与度

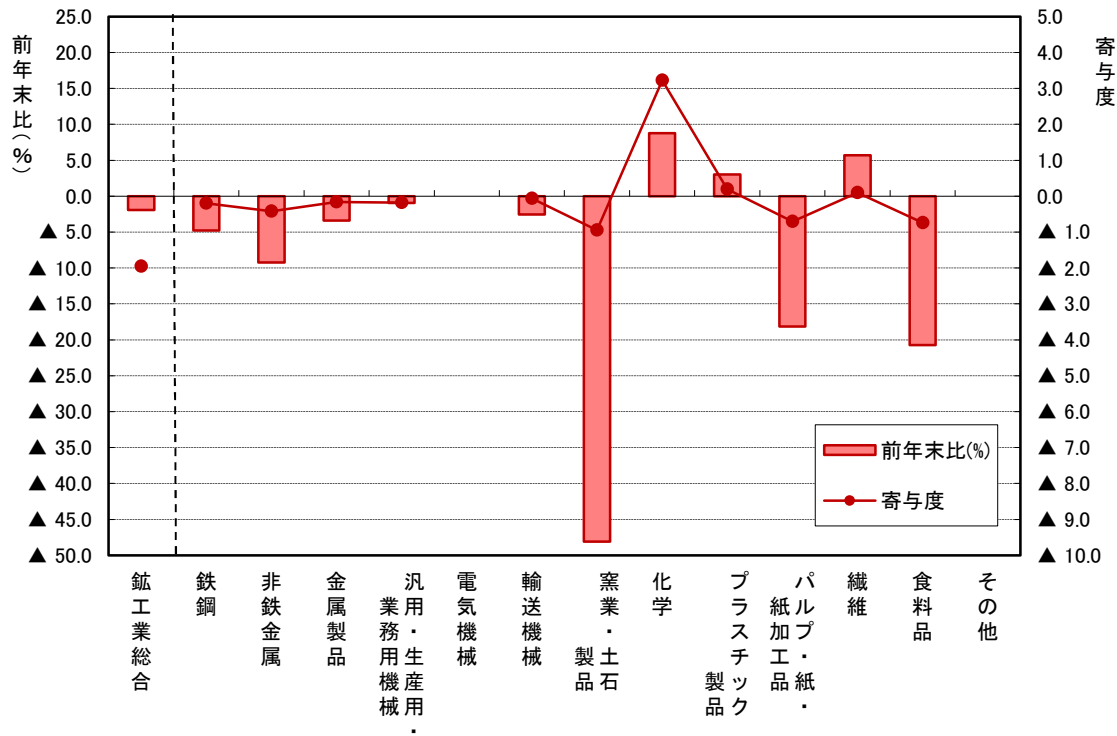


図13 在庫指数(四半期季節調整済 令和2年=100)の推移

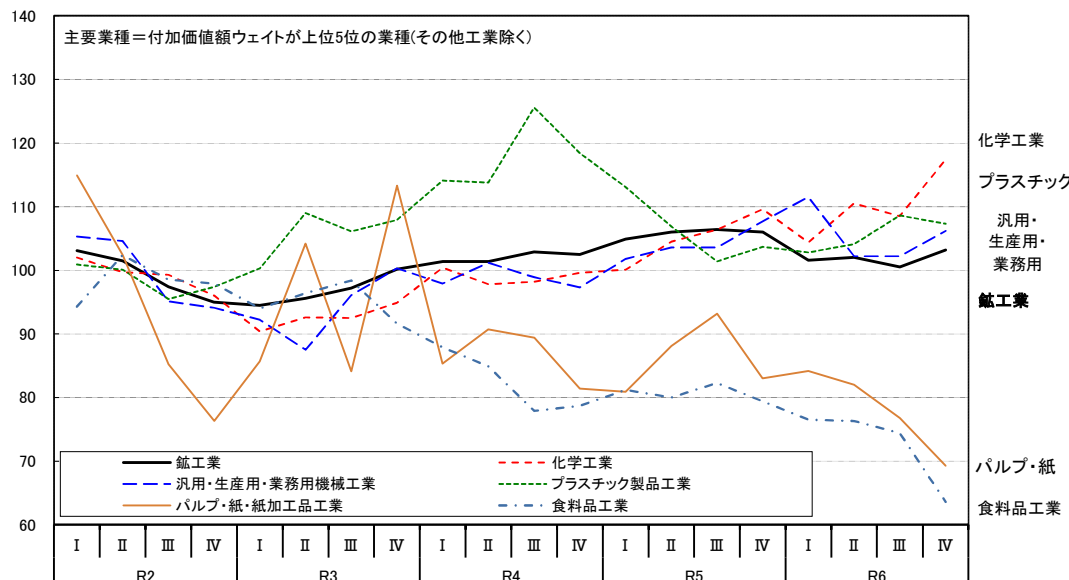


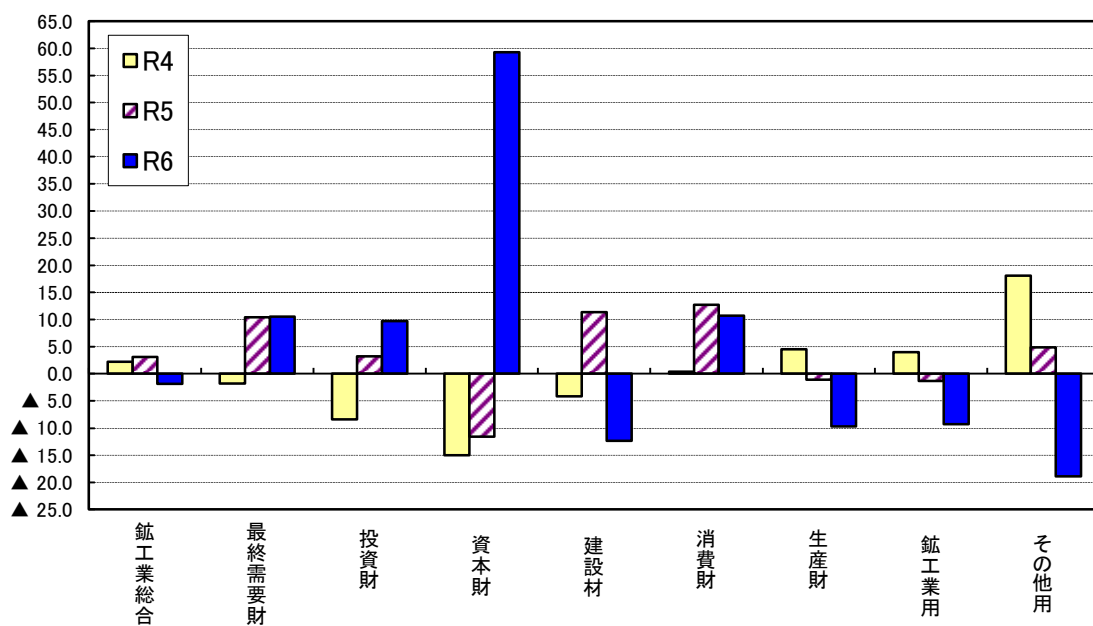
表8 在庫指数(財用途分類・年末)

令和2年=100

	ウェイト (万分比)	年末指数(原指数)		前年末比 (%)	寄与度 (%ポイント)
		5年	6年		
鉱工業	10000.0	102.8	100.8	▲ 1.9	▲ 1.95
最終需要財	3873.1	101.5	112.2	10.5	4.03
投資財	890.8	98.0	107.5	9.7	0.82
資本財	316.6	85.0	135.4	59.3	1.55
建設財	574.2	105.2	92.2	▲ 12.4	▲ 0.73
消費財	2982.3	102.6	113.6	10.7	3.19
耐久消費財	118.8	X	X	X	X
非耐久消費財	2863.5	X	X	X	X
生産財	6126.9	103.5	93.5	▲ 9.7	▲ 5.96
鉱工業用生産財	5862.0	103.3	93.7	▲ 9.3	▲ 5.47
その他用生産財	264.9	108.9	88.3	▲ 18.9	▲ 0.53

前年比(%)

図14 財用途別在庫指数対前年比(原指数)の推移



(3) 在庫循環

富山県の在庫循環図をみると、令和3年Ⅰ期は「在庫減少局面」に位置し、令和3年Ⅱ期からⅣ期は「在庫積み増し局面」へ移動した。令和4年Ⅰ期からⅢ期は「在庫積み上がり局面」に位置したが、令和4年Ⅳ期から令和5年Ⅲ期は「在庫調整局面」へ移動した。令和5年Ⅳ期は「在庫積み上がり局面」に位置している。令和6年Ⅰ期は「在庫調整局面」に位置し、Ⅱ期は「在庫積み増し局面」へ移動した。令和6年Ⅲ期は「在庫減少局面」へ移動し、Ⅳ期は再度「在庫調整局面」へ移動している。

また、**全国の在庫循環図**をみると、令和3年Ⅰ期は「在庫減少局面」に位置した。令和3年Ⅱ期、Ⅲ期は「在庫積み増し局面」へ移動し、令和3年Ⅳ期から令和4年Ⅳ期は「在庫積み上がり局面」へ移動した。令和5年Ⅰ期、Ⅱ期は引き続き「在庫積み上がり局面」に位置したが、令和5年Ⅲ期、Ⅳ期は「在庫調整局面」に位置している。令和6年Ⅰ期から令和6年Ⅲ期は引き続き「在庫調整局面」に位置し、令和6年Ⅳ期は「在庫減少局面」へ移動している。

〔在庫循環図について〕

企業は、販売用製品、生産に必要な原材料を在庫として保有しており、その量を出荷・販売などの動きに応じて変化させる。この在庫は、経済活動全体としてみると生産と需要のギャップから発生し、景気変動に合わせて循環的に増減する傾向があり、この循環を在庫循環（Inventory Cycle）と呼んでいる。

この在庫循環は、在庫循環図（生産・在庫指数の原指数の前年同期比による在庫循環の4局面）として示すことができ、「在庫積み増し局面」→「在庫積み上がり局面」→「在庫調整局面」→「在庫減少局面」と景気の局面ごとに起こり、通常、時計の反対方向にグラフが推移する傾向がある（傾向変動を除去した場合）。

なお、過去の分析から、ほぼ40ヵ月（3～4年）の循環を示すことが多く、「キッチンの波」（キッチン(Kitchen)が分析したもの）とも呼ばれる。

在庫循環の4局面とは、以下のとおり。

「在庫積み増し局面」

景気が上向き、需要が回復しているときには、将来の需要増を見込み、原料を手当し、製品化を急ぎ、在庫を積み増す（図 b1,b2）。

「在庫積み上がり局面」

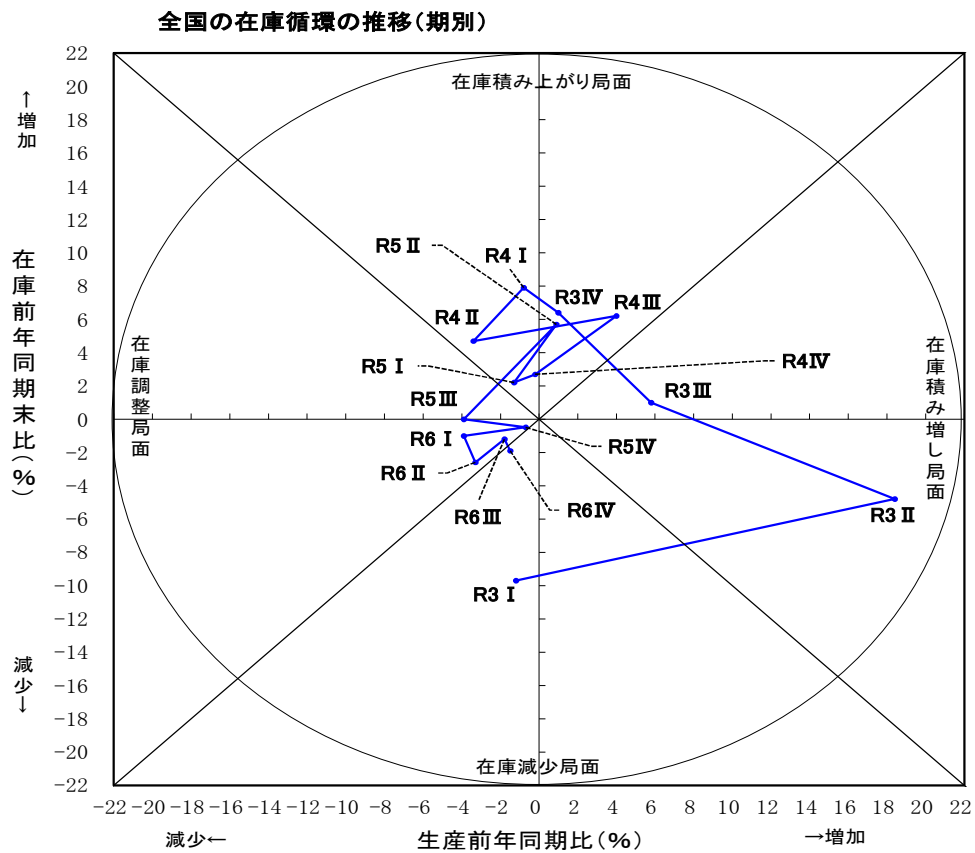
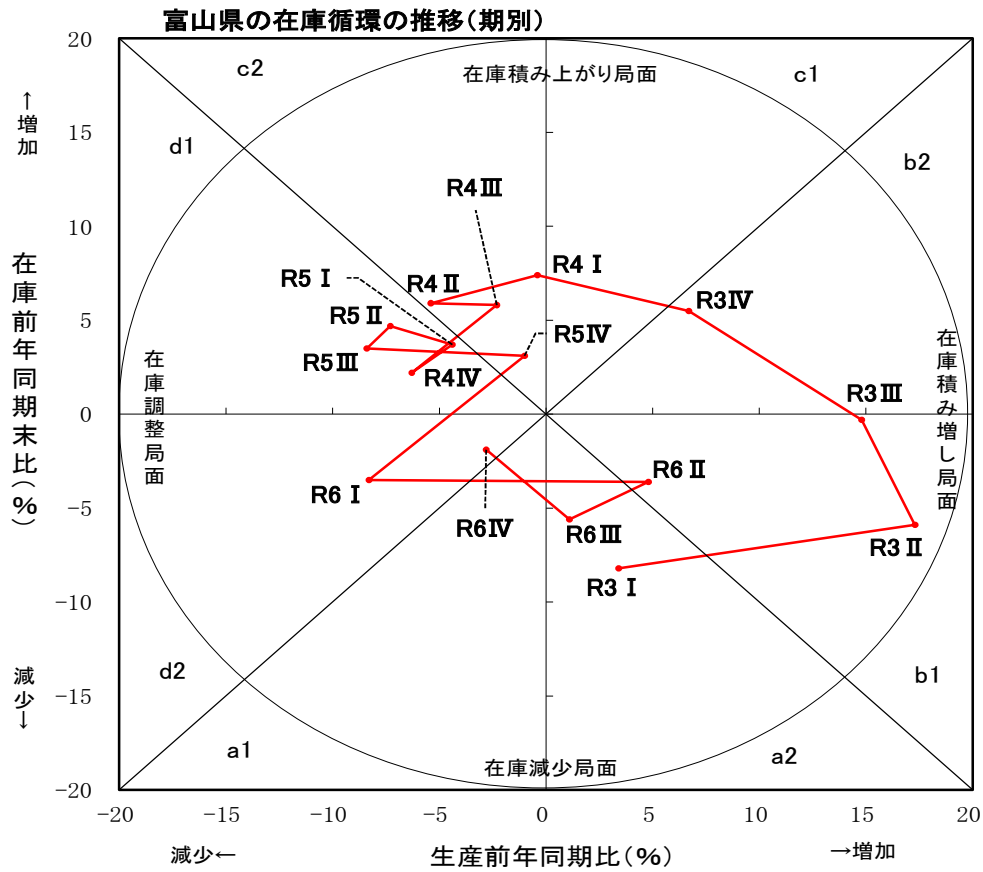
景気の山を迎え、需要が伸び悩み、下降局面にはいると、企業の需要予測より実際の需要が下回ることになり、在庫がたまりはじめる（意図せざる在庫投資、図 c1,c2）。

「在庫調整局面」

需要低迷により積み上がった在庫を意図的に減らすため、減産を行う。この結果、景気の停滞・後退は進む。これが在庫調整であり、この在庫調整が終了する時期が、ほぼ景気の谷となる（図 d1,d2）。

「在庫減少局面」

景気が回復し需要が増えると、最初は生産が追いつかず需要が予測を上回り、生産を増やしても在庫が意図しないで減少する（意図せざる在庫減局面、図 a1,a2）。



2 業種別動向

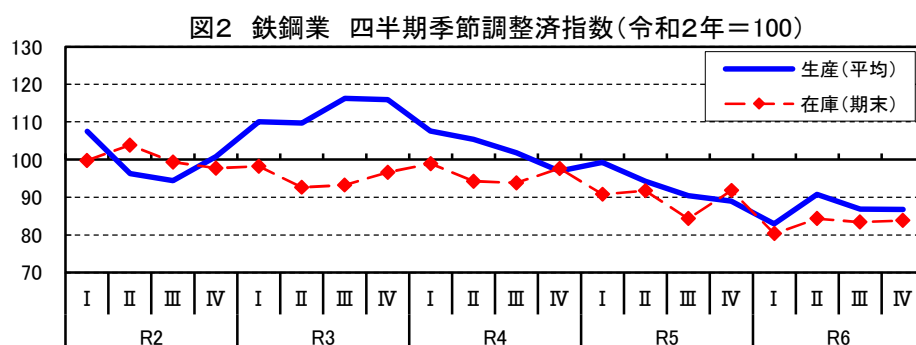
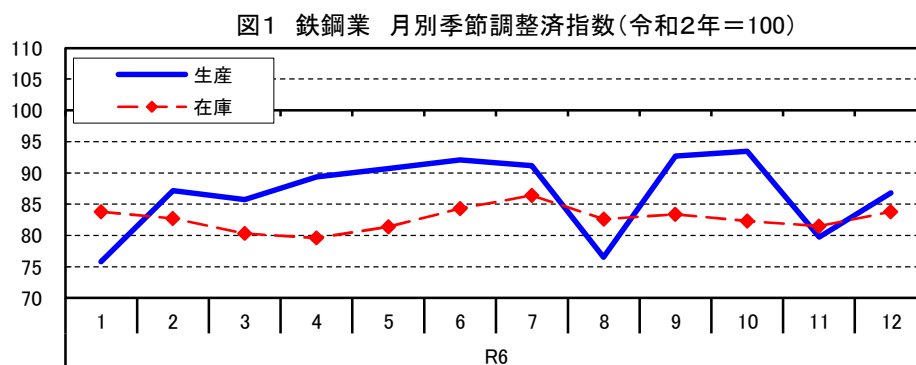
(1) 鉄鋼業

① 概 況

生産指数は前年比▲6.0%（寄与度▲0.21）で 87.4 となり、3 年連続で低下した。

在庫指数は前年末比▲4.8%（寄与度▲0.20）で 86.1 となり、2 年連続で低下した。

（図 1、図 2、統計表第 3 表、統計表第 4 表）

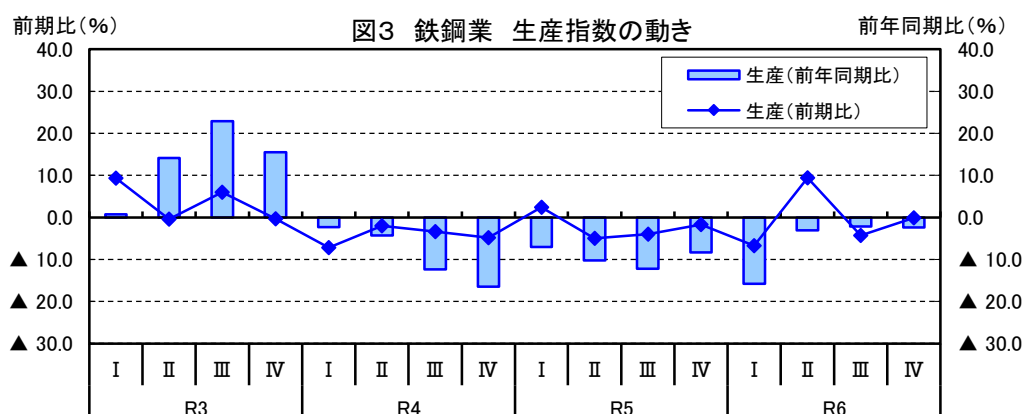


② 生 産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲6.7%で 82.9、Ⅱ期は同 9.4%の上昇で 90.7 と令和 5 年Ⅰ期以降 5 期ぶりに上昇したが、Ⅲ期は同▲4.3%で 86.8、Ⅳ期は同▲0.1%で 86.7 と 2 期連続で低下した。

また、原指数は、Ⅰ期 80.2（前年同期比▲15.8%）、Ⅱ期 93.3（同▲3.1%）、Ⅲ期 87.2（同▲2.2%）、Ⅳ期 89.0（同▲2.4%）と令和 4 年Ⅰ期以降 1 2 期連続で前年を下回った。

（図 3、統計表第 3 表）

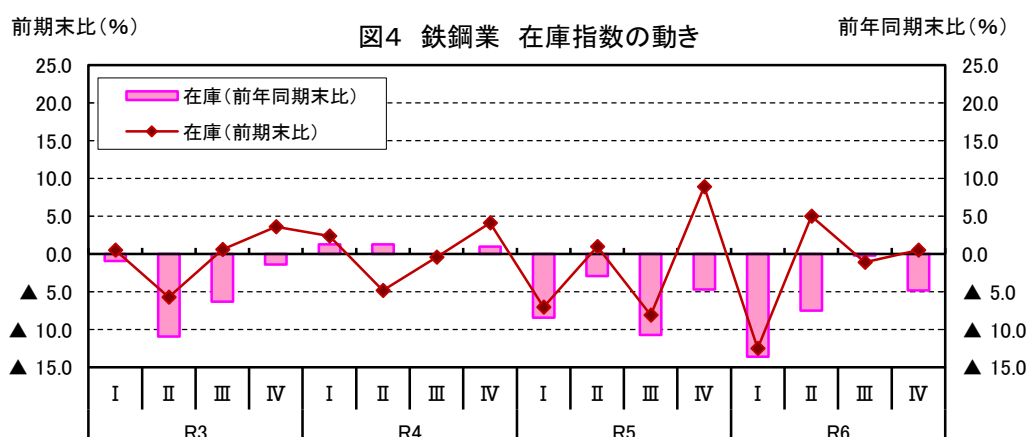


③ 在 庫

四半期別季節調整済在庫指数は、Ⅰ期は前期比▲12.5%で 80.3 となり、Ⅱ期は同 5.0%の上昇で 84.3、Ⅲ期は同▲1.1%で 83.4 と低下したが、Ⅳ期は同 0.5%の上昇で 83.8 となった。

また、原指数は、Ⅰ期 80.5（前年同期末比▲13.6%）、Ⅱ期 85.3（同▲7.5%）、Ⅲ期 81.3（同▲0.2%）、Ⅳ期 86.1（同▲4.8%）と令和 5 年Ⅰ期以降 8 期連続で前年を下回った。

（図 4、統計表第 4 表）



(2) 非鉄金属工業

① 概 況

生産指数は前年比▲2.8%（寄与度▲0.18）で102.5となり、3年連続で低下した。

在庫指数は前年末比▲9.2%（寄与度▲0.42）で115.1となり、3年ぶりに低下した。

（図5、図6、統計表第3表、統計表第4表）

図5 非鉄金属工業 月別季節調整済指数(令和2年=100)

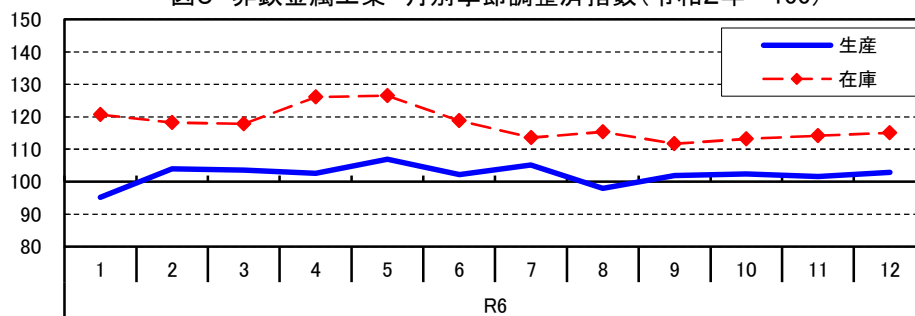
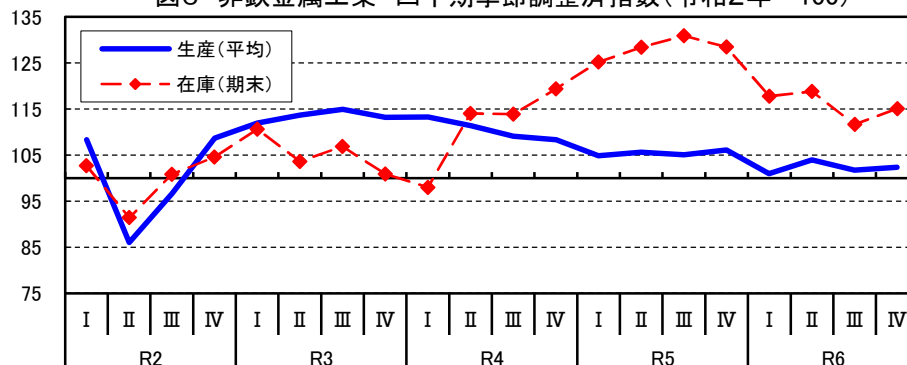


図6 非鉄金属工業 四半期季節調整済指数(令和2年=100)

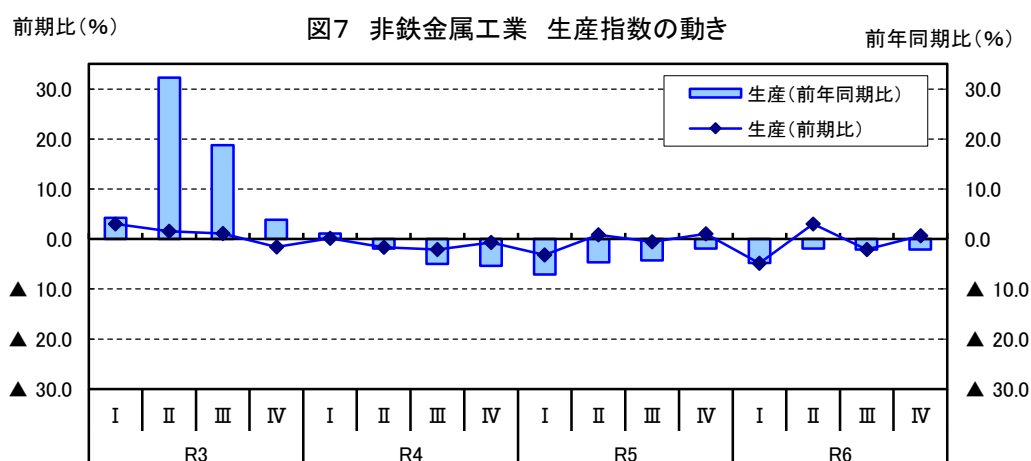


② 生産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲4.9%で 100.9 となり、Ⅱ期は同 3.0 の上昇で 103.9、Ⅲ期は同▲2.1%で 101.7 と低下したが、Ⅳ期は同 0.6%の上昇で 102.3 となった。

また、原指数は、Ⅰ期 98.5（前年同期比▲4.8%）、Ⅱ期 103.6（同▲1.9%）、Ⅲ期 101.3（同▲2.1%）、Ⅳ期 106.8（同▲2.1%）と令和 4 年Ⅱ期以降 1 1 期連続で前年を下回った。

（図 7、統計表第 3 表）

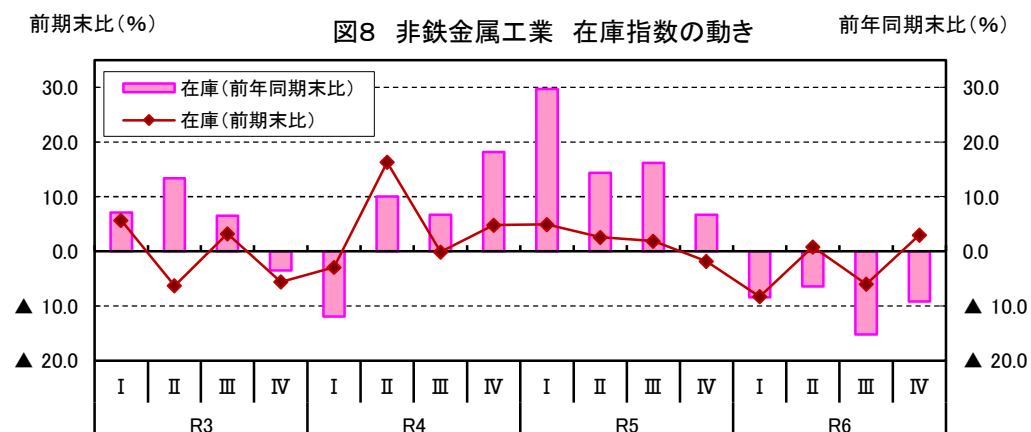


③ 在庫

四半期別季節調整済在庫指数は、Ⅰ期は前期比▲8.3%で 117.8、Ⅱ期は同 0.8%の上昇で 118.8、Ⅲ期は同▲6.0%で 111.7 と低下したが、Ⅳ期は同 3.0%の上昇で 115.1 となった。

また、原指数は、Ⅰ期 119.9（前年同期末比▲8.4%）、Ⅱ期 121.9（同▲6.4%）、Ⅲ期 114.8（同▲15.2%）、Ⅳ期 115.1（同▲9.2%）と 4 期連続で前年を下回った。

（図 8、統計表第 4 表）



(3) 金属製品工業

① 概 況

生産指数は前年比▲7.1%（寄与度▲0.87）で 97.7 となり、2 年連続で低下した。

在庫指数は前年末比▲3.4%（寄与度▲0.16）で 99.0 となり、2 年ぶりに低下した。

（図 9、図 10、統計表第 3 表、統計表第 4 表）

図9 金属製品工業 月別季節調整済指数(令和2年=100)

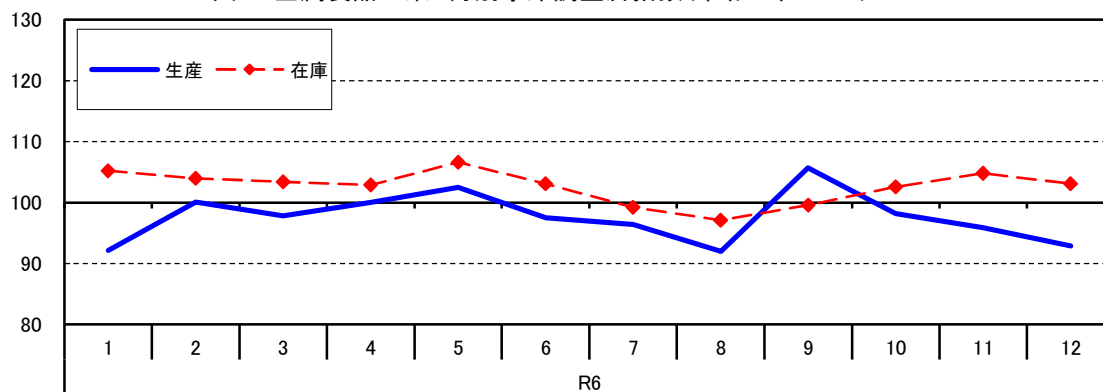
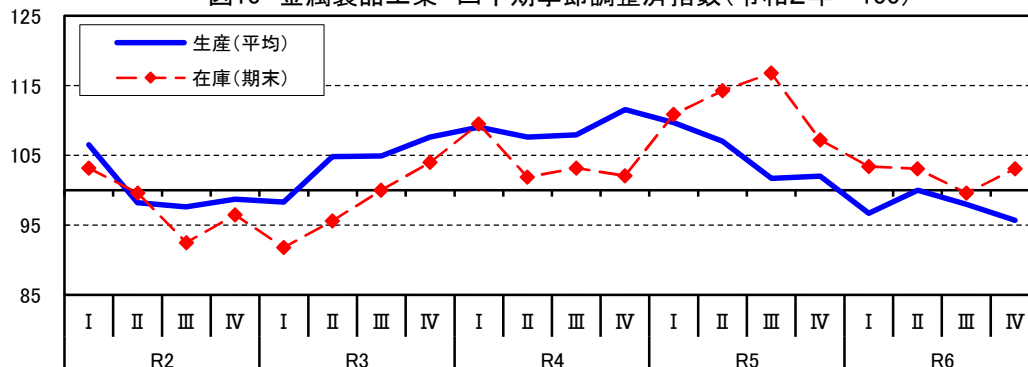


図10 金属製品工業 四半期季節調整済指数(令和2年=100)

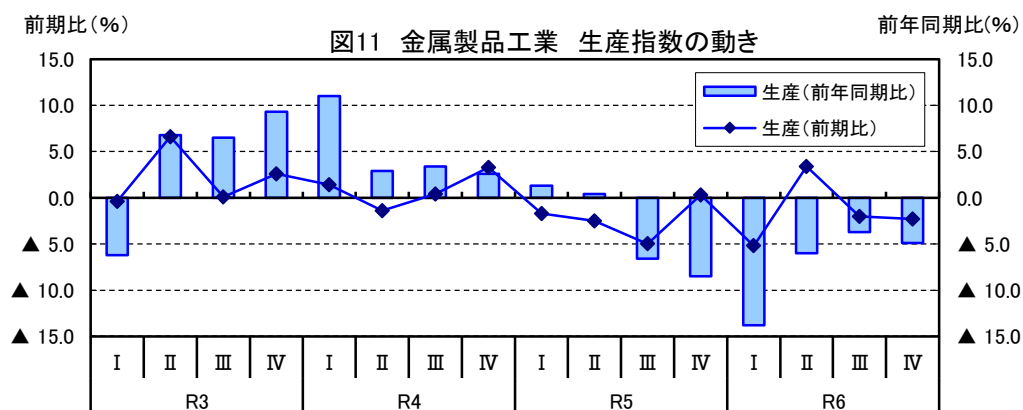


② 生 産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲5.2%で96.7、Ⅱ期は同3.4%の上昇で100.0となったが、Ⅲ期は同▲2.0%で98.0、Ⅳ期は同▲2.3%で95.7と2期連続で低下した。

また、原指数は、Ⅰ期93.3（前年同期比▲13.8%）、Ⅱ期100.9（同▲6.0%）、Ⅲ期95.5（同▲3.7%）、Ⅳ期101.1（同▲4.9%）と令和5年Ⅲ期以降6期連続で前年を下回った。

（図11、統計表第3表）

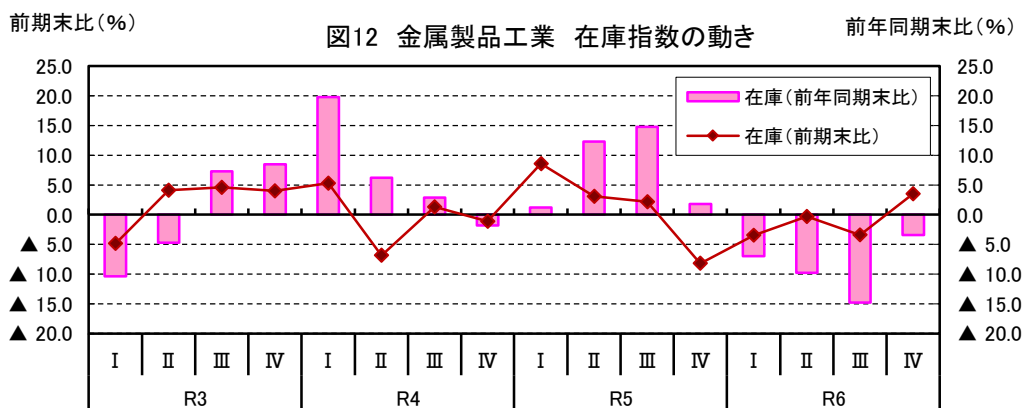


③ 在 庫

四半期別季節調整済在庫指数は、Ⅰ期は前期比▲3.5%で103.4、Ⅱ期は同▲0.3%で103.1、Ⅲ期は同▲3.4%で99.6と令和5年Ⅳ期以降4期連続で低下したが、Ⅳ期は同3.5%の上昇で103.1となった。

また、原指数は、Ⅰ期107.0（前年同期末比▲7.0%）、Ⅱ期106.4（同▲9.8%）、Ⅲ期99.3（同▲14.8%）、Ⅳ期99.0（同▲3.4%）と4期連続で前年を下回った。

（図12、統計表第4表）



(4) 汎用・生産用・業務用機械工業

① 概 況

生産指数は前年比▲4.0%（寄与度▲0.72）で 100.0 となり、3 年連続で低下した。

在庫指数は前年末比▲0.9%（寄与度▲0.18）で 105.1 となり、2 年ぶりに低下した。

（図 13、図 14、統計表第 3 表、統計表第 4 表）

図13 汎用・生産用・業務用機械工業 月別季節調整済指数(令和2年=100)

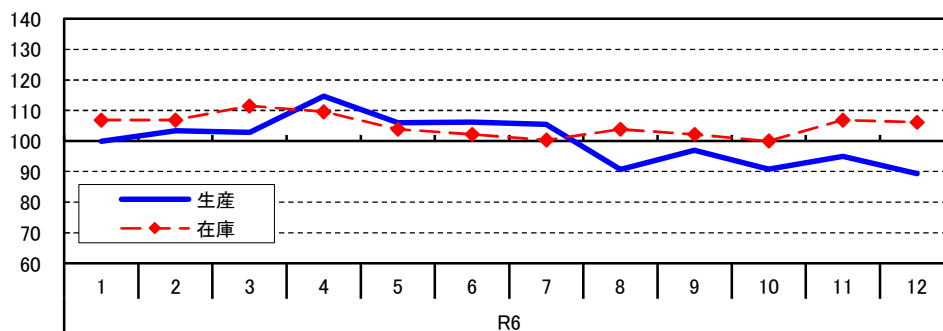
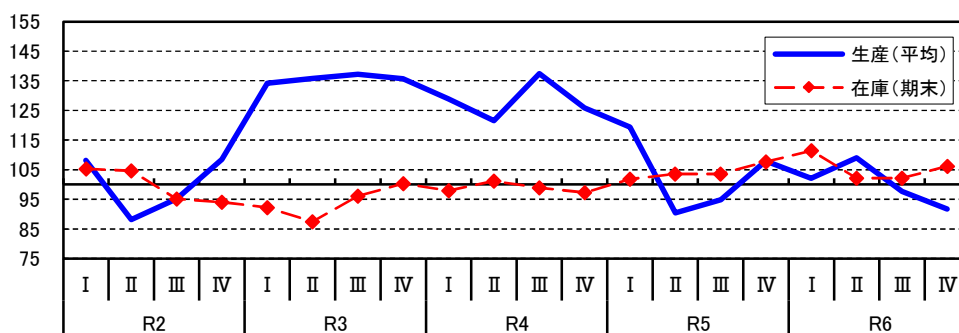


図14 汎用・生産用・業務用機械工業 四半期季節調整済指数(令和2年=100)

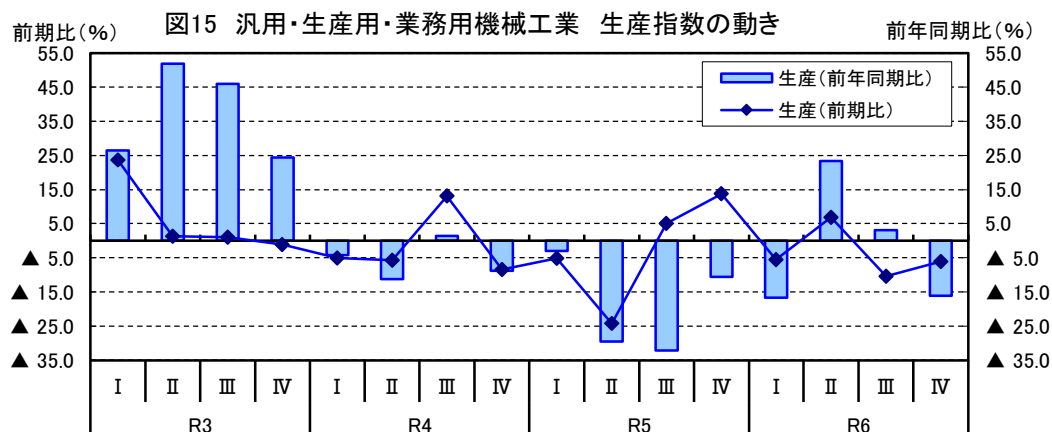


② 生産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲5.5%で102.1、Ⅱ期は同6.8%の上昇で109.0となったが、Ⅲ期は同▲10.4%で97.7、Ⅳ期は同▲6.1%で91.7となり2期連続で低下した。

また、原指数は、Ⅰ期107.1（前年同期比▲16.7%）、Ⅱ期103.4（同23.4%）、Ⅲ期96.4（同3.1%）と2期連続で前年を上回ったが、Ⅳ期93.1（同▲16.1%）と前年を下回った。

（図15、統計表第3表）

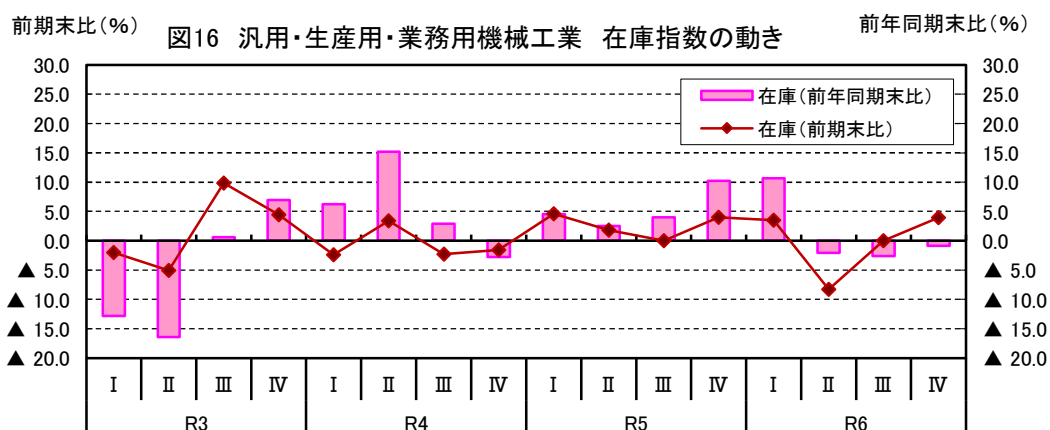


③ 在庫

四半期別季節調整済在庫指数は、Ⅰ期は前期比3.5%の上昇で111.5、Ⅱ期は同▲8.3%で102.2、Ⅲ期は横ばいとなり、Ⅳ期は同3.9%の上昇で106.2となった。

また、原指数は、Ⅰ期116.5（前年同期末比10.7%）と前年を上回ったが、Ⅱ期102.5（同▲2.1%）、Ⅲ期98.6（同▲2.6%）、Ⅳ期105.1（同▲0.9%）と3期連続で前年を下回った。

（図16、統計表第4表）



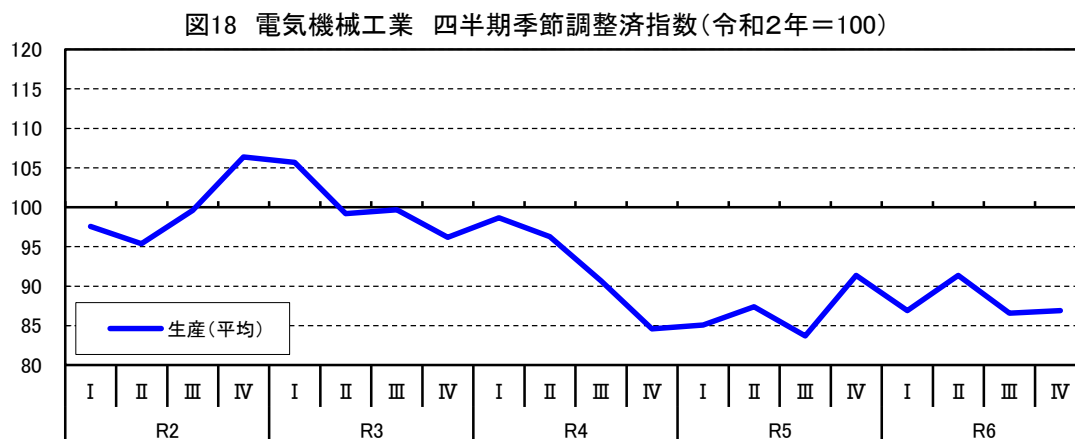
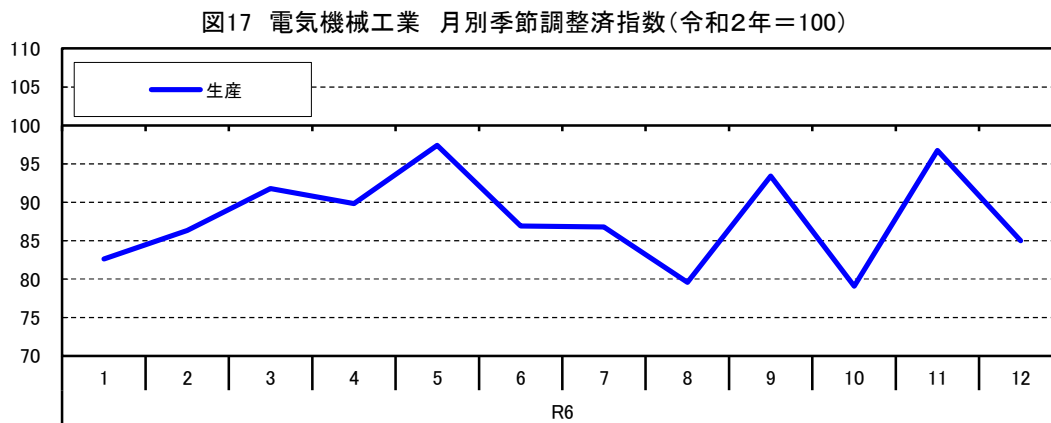
(5) 電気機械工業

① 概 況

生産指数は前年比 1.2%（寄与度 0.12）で 87.9 となり、3 年ぶりに上昇した。

在庫指数は 2 年連続で低下した。（指数値は秘匿のため非公表）

（図 17、図 18、統計表第 3 表）

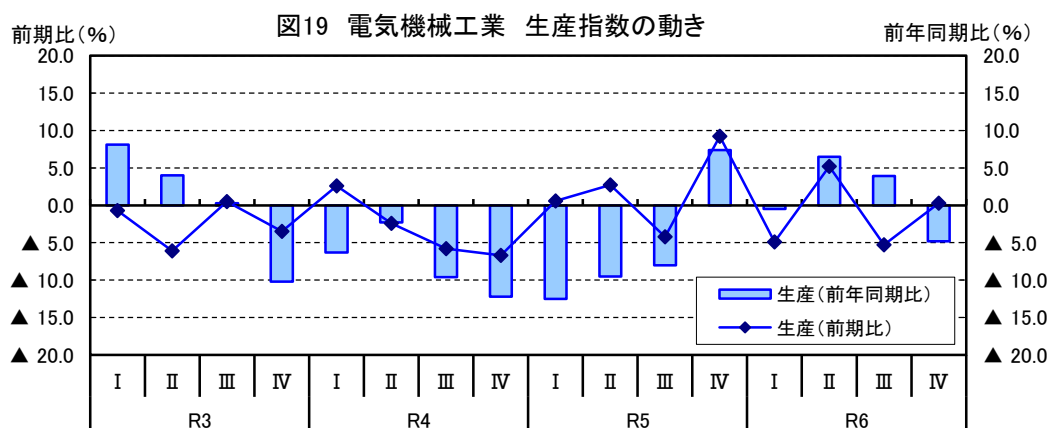


② 生 産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲4.9%で86.9、Ⅱ期は同5.2%の上昇で91.4となったが、Ⅲ期は同▲5.3%で86.6と、Ⅳ期は同0.3%の上昇で86.9となった。

また、原指数は、Ⅰ期83.5（前年同期比▲0.5%）、Ⅱ期88.4（同6.5%）、Ⅲ期88.7（同3.9%）と2期連続で前年を上回ったが、Ⅳ期90.9（同▲4.8%）と前年を下回った。

（図19、統計表第3表）



③ 在 庫

四半期別季節調整済在庫指数は、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期と令和5年Ⅲ期以降5期連続で低下したが、Ⅳ期は6期ぶりに上昇した。

また、原指数は、令和5年Ⅲ期以降6期連続で前年を下回った。

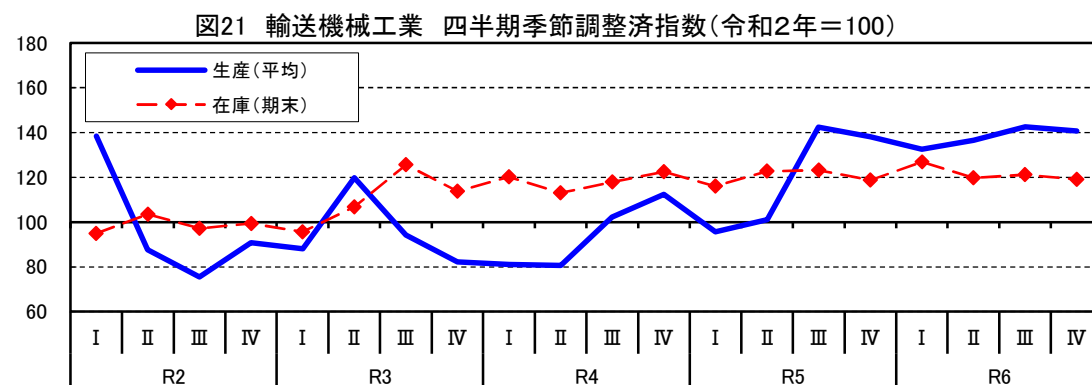
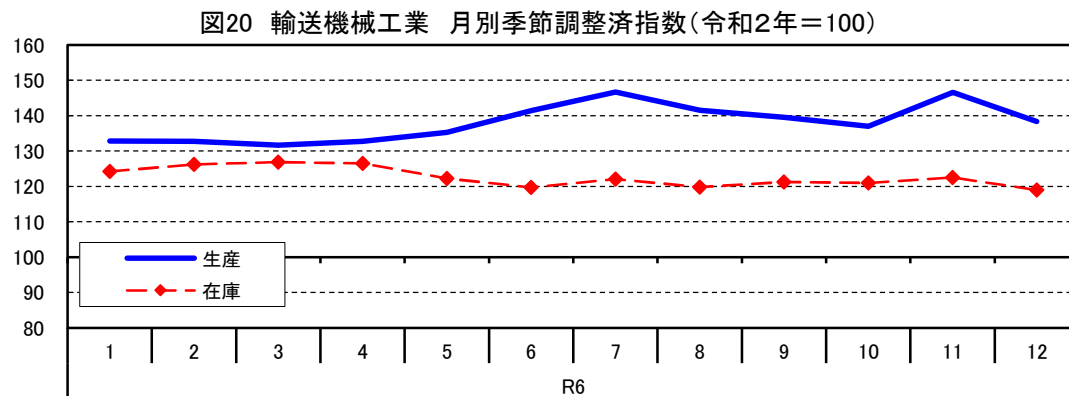
(6) 輸送機械工業

① 概 況

生産指数は前年比 16.7%（寄与度 0.52）で 139.3 となり、2 年連続で上昇した。

在庫指数は前年末比▲2.5%（寄与度▲0.06）で 118.8 となり、2 年連続で低下した。

（図 20、図 21、統計表第 3 表、統計表第 4 表）

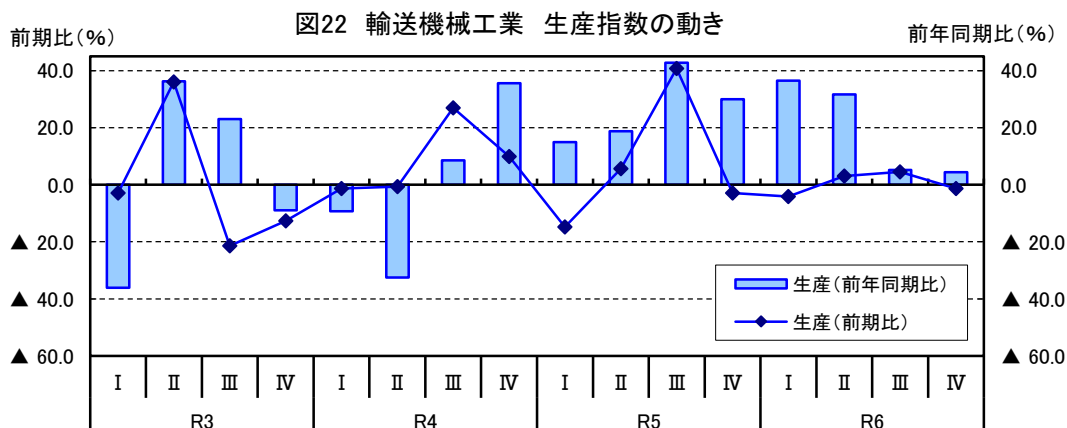


② 生産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲4.1%で132.5、Ⅱ期は同3.0%の上昇で136.5、Ⅲ期は同4.5%の上昇で142.6と2期連続で上昇したが、Ⅳ期は同▲1.3%で140.7となった。

また、原指数は、Ⅰ期138.0（前年同期比36.5%）、Ⅱ期122.0（同31.6%）、Ⅲ期143.8（同5.2%）、Ⅳ期153.4（同4.4%）と令和4年Ⅲ期以降10期連続で前年を上回った。

（図22、統計表第3表）

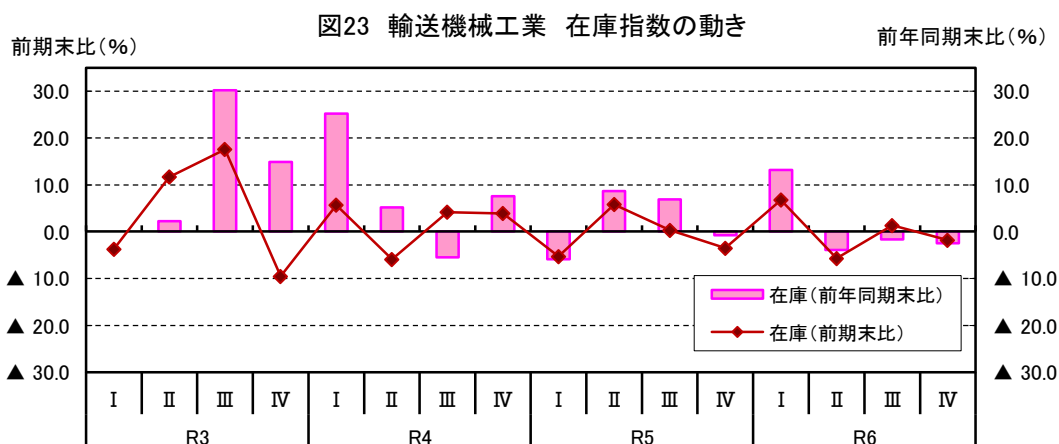


③ 在庫

四半期別季節調整済在庫指数は、Ⅰ期は前期比6.8%の上昇で126.9、Ⅱ期は同▲5.7%で119.7となったが、Ⅲ期は同1.3%の上昇で121.2、Ⅳ期は同▲1.8%で119.0となった。

また、原指数は、Ⅰ期128.7（前年同期末比13.2%）と前年を上回り、Ⅱ期115.0（同▲3.9%）、Ⅲ期125.3（同▲1.7%）、Ⅳ期118.8（同▲2.5%）と3期連続で前年を下回った。

（図23、統計表第4表）



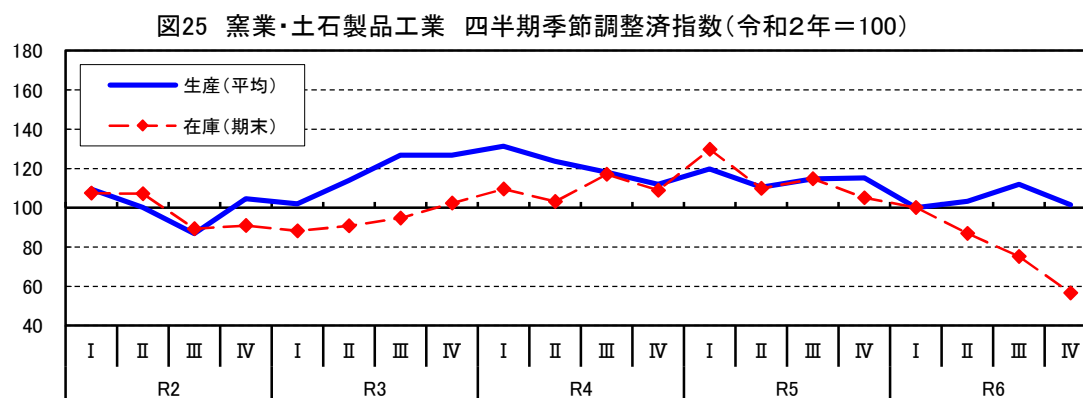
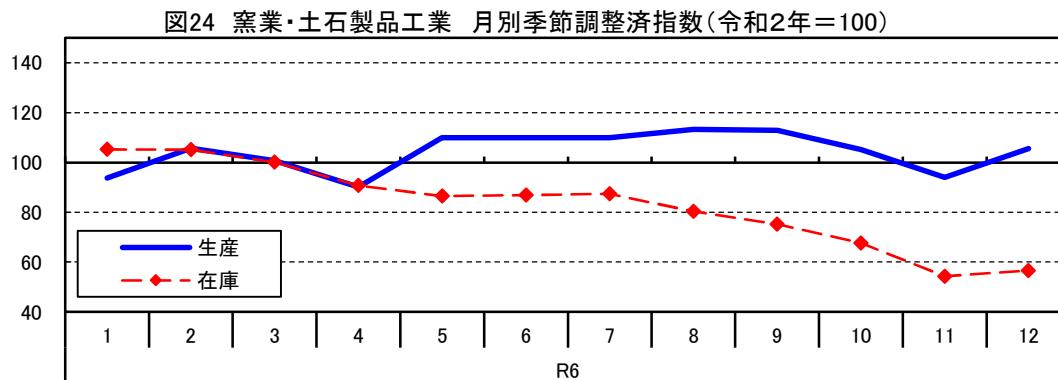
(7) 窯業・土石製品工業

① 概 況

生産指数は前年比▲8.9%（寄与度▲0.30）で104.7となり、2年連続で低下した。

在庫指数は前年末比▲48.1%（寄与度▲0.95）で47.8となり、2年連続で低下した。

（図24、図25、統計表第3表、統計表第4表）

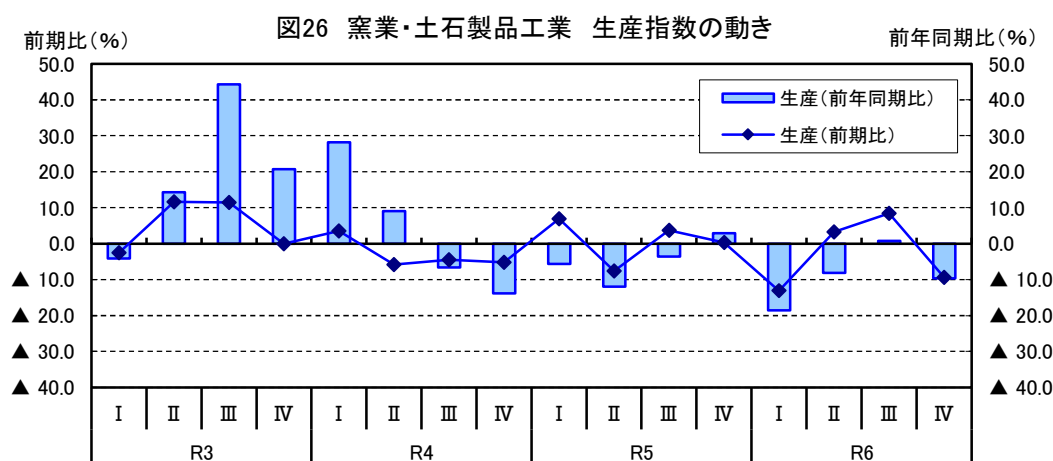


② 生産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲13.1%で100.0と3期ぶりに減少し、Ⅱ期は同3.3%の上昇で103.3、Ⅲ期は同8.4%の上昇で112.0と2期連続で上昇したが、Ⅳ期は同▲9.4%で101.5となった。

また、原指数は、Ⅰ期92.3（前年同期比▲18.5%）、Ⅱ期99.6（同▲8.1%）と2期連続で前年を下回ったが、Ⅲ期113.4（同0.8%）3期ぶりに前年を上回り、Ⅳ期113.4（同▲9.6%）と前年を下回った。

（図26、統計表第3表）

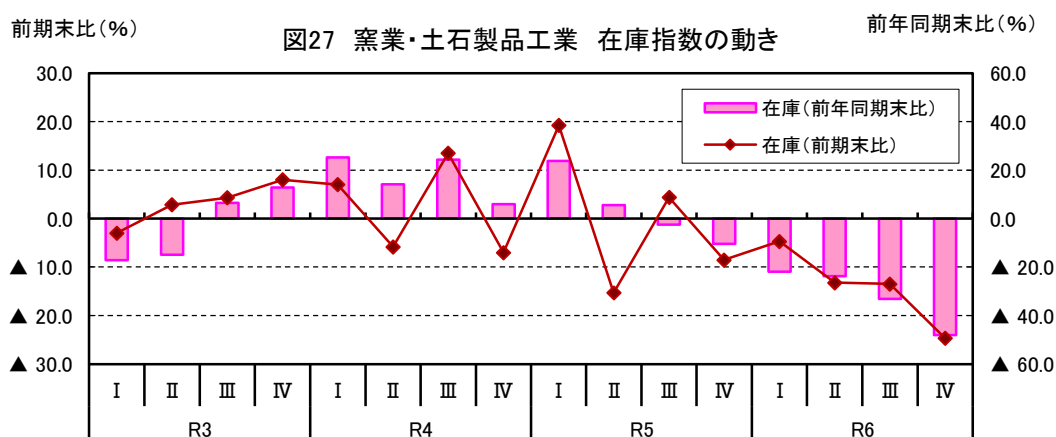


③ 在庫

四半期別季節調整済在庫指数は、Ⅰ期は前期比▲4.7%で100.1、Ⅱ期は同▲13.2%で86.9、Ⅲ期は同▲13.5%で75.2、Ⅳ期は同▲24.7%で56.6と令和5年Ⅳ期以降5期連続で低下となった。

また、原指数は、Ⅰ期106.3（前年同期末比▲21.9%）、Ⅱ期80.2（同▲23.8%）、Ⅲ期78.9（同▲33.1%）、Ⅳ期47.8（同▲48.1%）と令和5年Ⅲ期以降6期連続で前年を下回った。

（図27、統計表第4表）



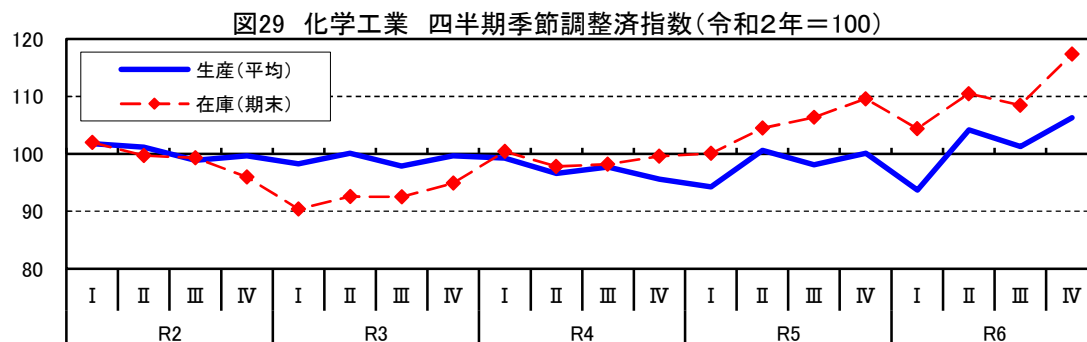
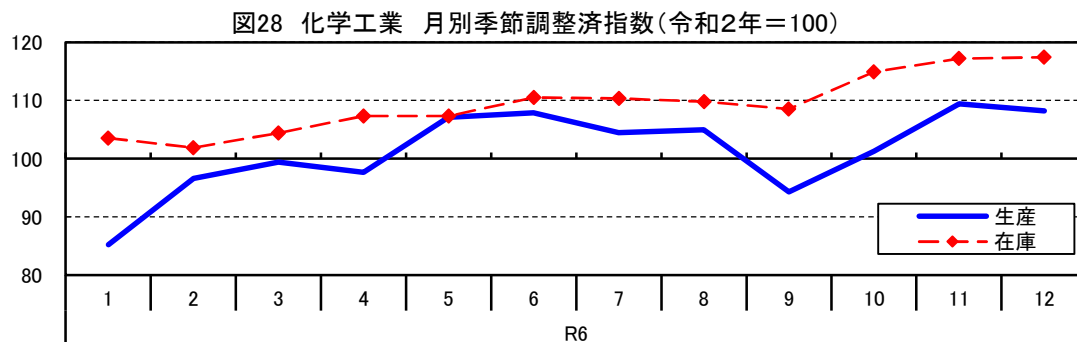
(8) 化学工業

① 概 況

生産指数は前年比 2.9%（寄与度 0.60）で 101.4 となり、2 年連続で上昇した。

在庫指数は前年末比 8.8%（寄与度 3.22）で 115.4 となり、3 年連続で上昇した。

（図 28、図 29、統計表第 3 表、統計表第 4 表）

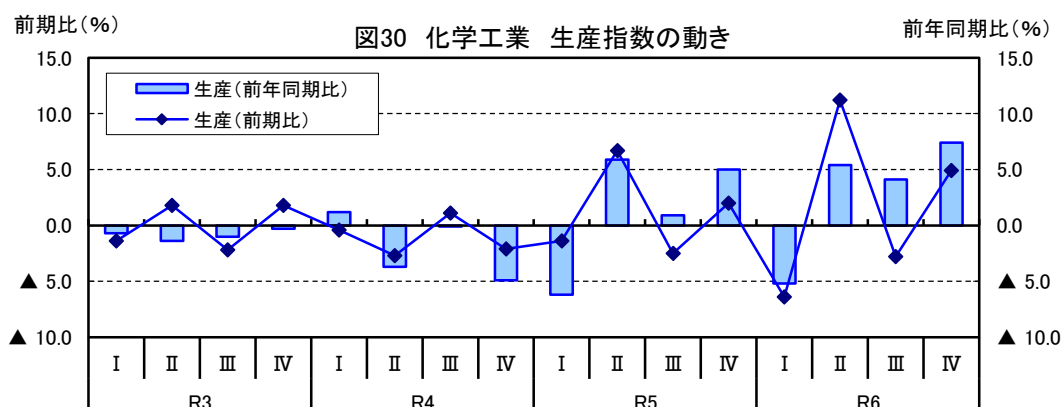


② 生 産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲6.4%で93.7、Ⅱ期は同11.2%の上昇で104.2となったが、Ⅲ期は同▲2.8%で101.3、Ⅳ期は同4.9%の上昇で106.3となった。

また、原指数は、Ⅰ期92.9（前年同期比▲5.2%）4期ぶりに前年を下回ったが、Ⅱ期106.7（同5.4%）、Ⅲ期96.2（同4.1%）、Ⅳ期109.9（同7.4%）と3期連続で前年を上回った。

（図30、統計表第3表）

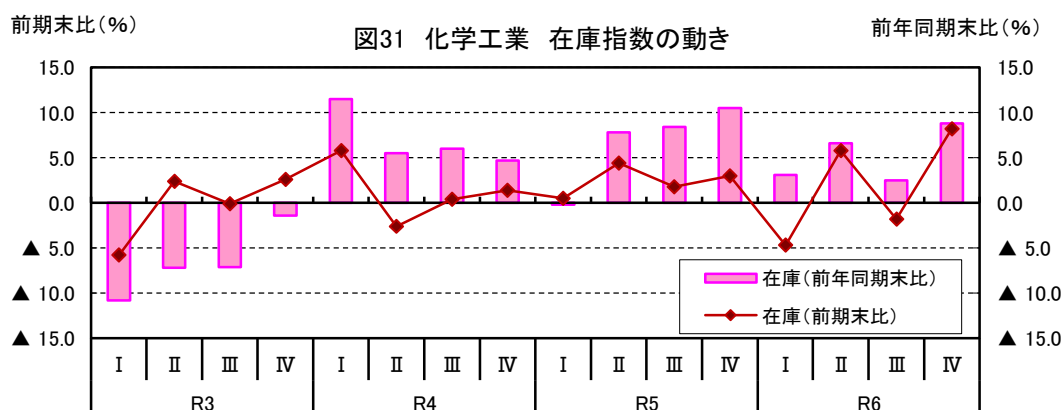


③ 在 庫

四半期別季節調整済在庫指数は、Ⅰ期は前期比▲4.7%で104.4、Ⅱ期は同5.8%の上昇で110.5となったが、Ⅲ期は同▲1.8%で108.5、Ⅳ期は同8.2%の上昇で117.4となった。

また、原指数は、Ⅰ期106.8（前年同期末比3.1%）、Ⅱ期113.8（同6.6%）、Ⅲ期108.7（同2.5%）、Ⅳ期115.4（同8.8%）と7期連続で前年を上回った。

（図31、統計表第4表）



(9) プラスチック製品工業

① 概 況

生産指数は前年比 0.2%（寄与度 0.01）で 93.4 となり、2 年連続で上昇した。

在庫指数は前年末比 3.0%（寄与度▲0.19）で 105.4 となり、2 年ぶりに上昇した。

（図 32、図 33、統計表第 3 表、統計表第 4 表）

図32 プラスチック製品工業 月別季節調整済指数(令和2年=100)

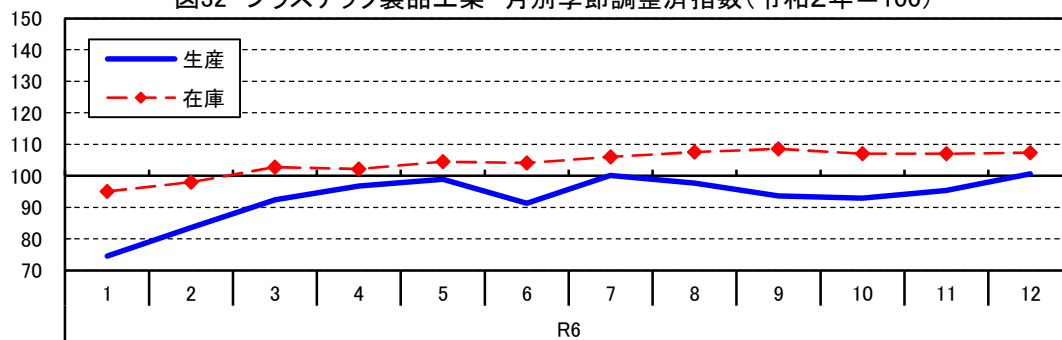
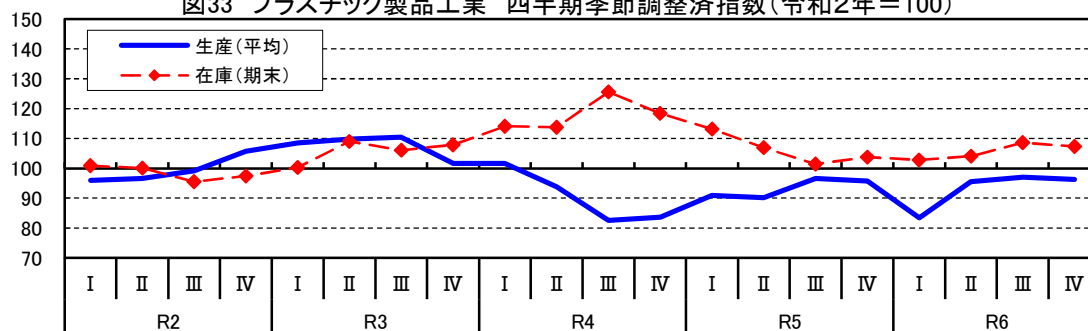


図33 プラスチック製品工業 四半期季節調整済指数(令和2年=100)

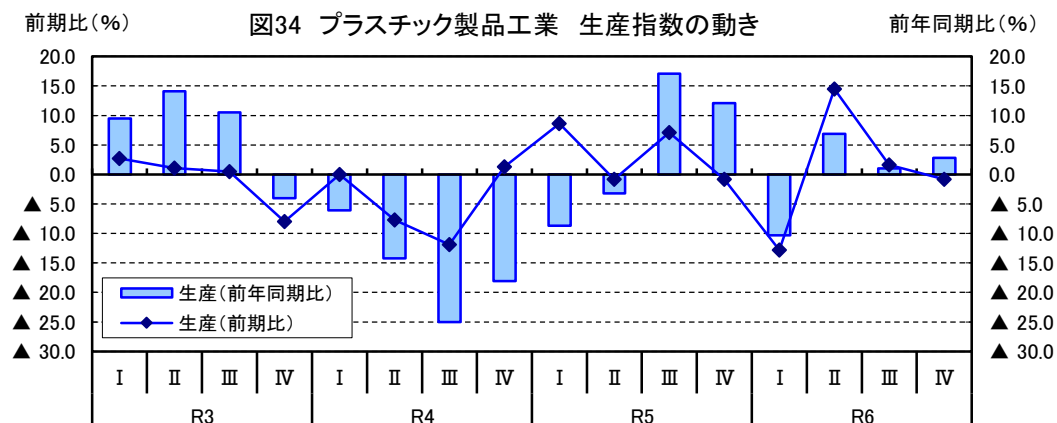


② 生産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲12.8%で 83.5 と令和 5 年Ⅳ期以降 2 期連続で低下し、Ⅱ期は同 14.5%の上昇で 95.6、Ⅲ期は同 1.6%の上昇で 97.1 と 2 期連続で上昇したが、Ⅳ期は同▲0.8%で 96.3 となった。

また、原指数は、Ⅰ期 81.4 (前年同期比▲10.3%) と 3 期ぶりに前年を下回ったが、Ⅱ期 98.7 (同 6.9%)、Ⅲ期 94.6 (同 1.0%)、Ⅳ期 99.0 (同 2.8%) と 3 期連続で前年を上回った。

(図 34、統計表第 3 表)

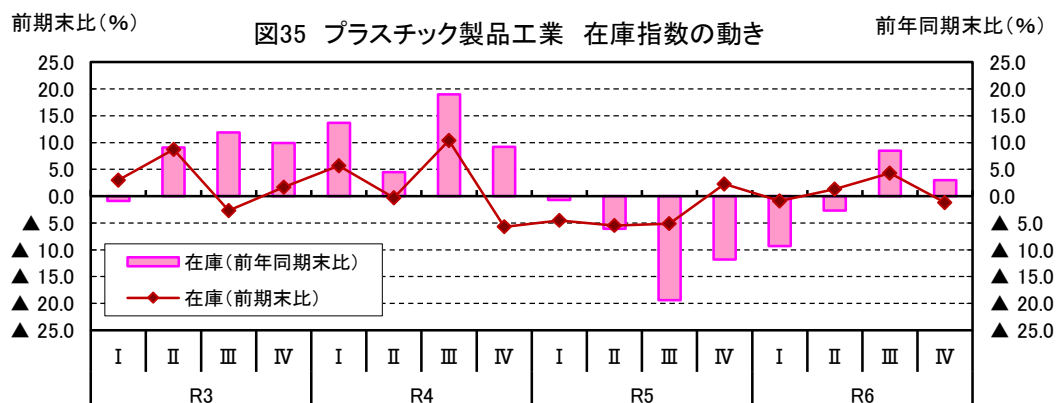


③ 在庫

四半期別季節調整済在庫指数は、Ⅰ期は前期比▲0.9%で 102.8、Ⅱ期は同 1.3%の上昇で 104.1、Ⅲ期は同 4.3%の上昇で 108.6 と 2 期連続で上昇したが、Ⅳ期は同▲1.2%で 107.3 となった。

また、原指数は、Ⅰ期 99.9 (前年同期末比▲9.3%)、Ⅱ期 104.1 (同▲2.7%) と令和 5 年Ⅰ期以降 6 期連続で前年を下回ったが、Ⅲ期 111.6 (同 8.5%)、Ⅳ期 105.4 (同 3.0%) と 7 期ぶりに前年を上回った。

(図 35、統計表第 4 表)



(10) パルプ・紙・紙加工品工業

① 概 況

生産指数は前年比▲6.1%（寄与度▲0.22）で 101.1 となり、3 年連続で低下した。

在庫指数は前年末比▲18.2%（寄与度▲0.71）で 65.8 となり、2 年ぶりに減少した。

（図 36、図 37、統計表第 3 表、統計表第 4 表）

図36 パルプ・紙・紙加工品工業 月別季節調整済指数(令和2年=100)

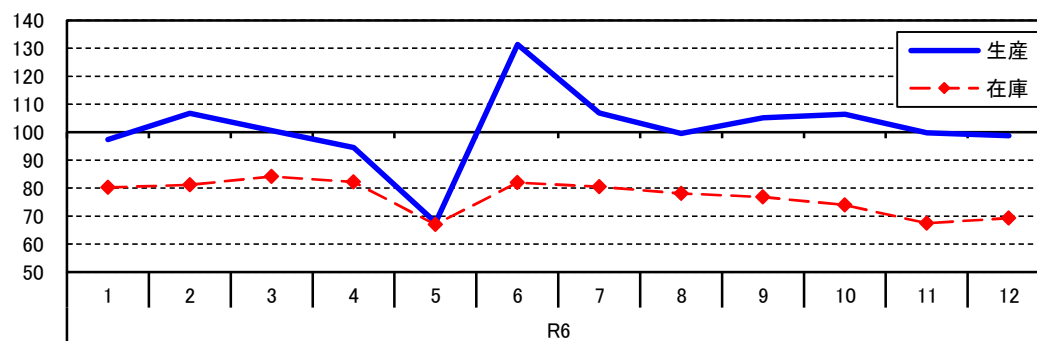
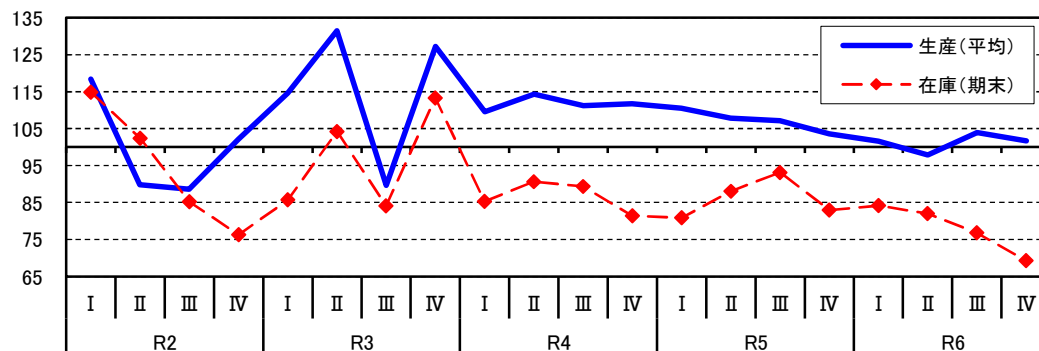


図37 パルプ・紙・紙加工品工業 四半期季節調整済指数(令和2年=100)

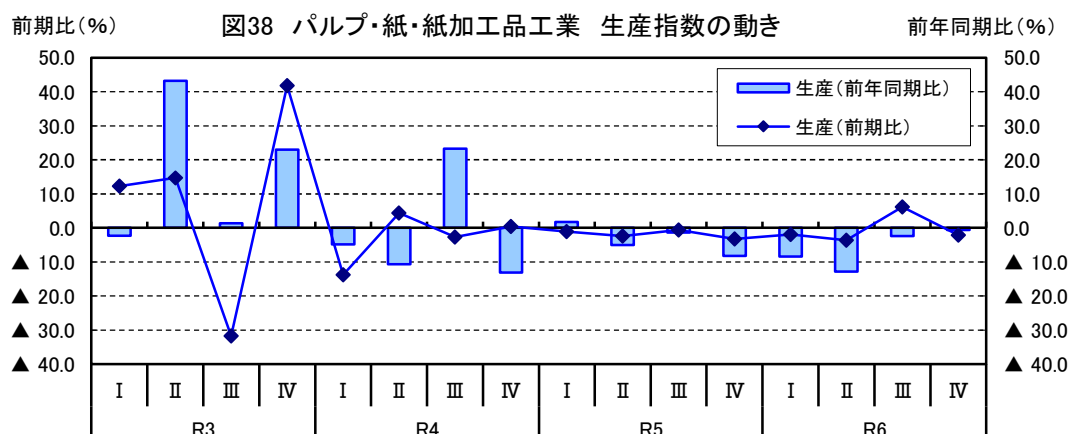


② 生産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲1.9%で101.6、Ⅱ期は同▲3.6%で97.9、Ⅲ期は同6.1%の上昇で103.9と令和4年Ⅳ期以降7期ぶりに上昇したが、Ⅳ期は同▲2.1%で101.7と低下した。

また、原指数は、Ⅰ期104.8（前年同期比▲8.4%）、Ⅱ期92.2（同▲12.8%）、Ⅲ期108.5（同▲2.4%）、Ⅳ期99.0（同▲0.6%）と令和5年Ⅱ期以降7期連続で前年を下回った。

（図38、統計表第3表）

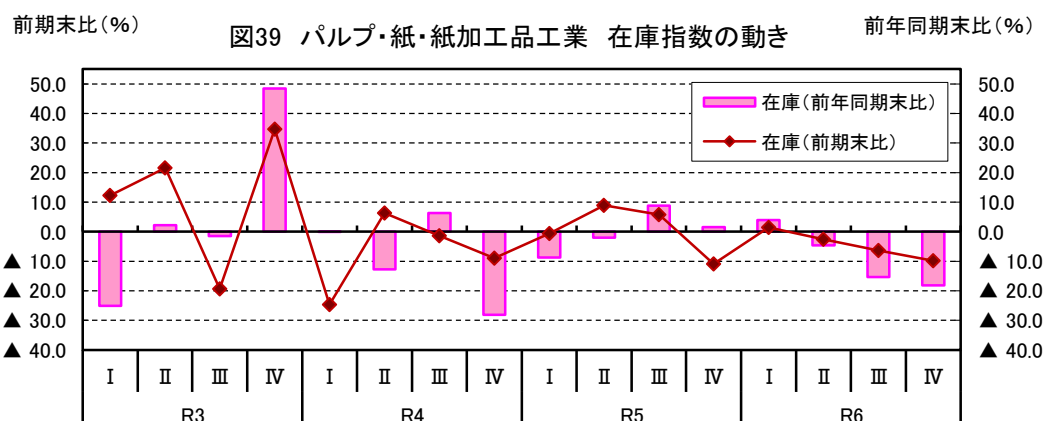


③ 在庫

四半期別季節調整済在庫指数は、Ⅰ期は前期比1.4%の上昇で84.2と2期ぶりに上昇したが、Ⅱ期は同▲2.6%で82.0、Ⅲ期は同▲6.3%で76.8、Ⅳ期は同▲9.8%で69.3と3期連続で低下した。

また、原指数は、Ⅰ期81.6（前年同期末比3.9%）と令和5年Ⅲ期以降3期連続で前年を上回ったが、Ⅱ期76.7（同▲4.6%）、Ⅲ期82.8（同▲15.3%）、Ⅳ期65.8（同▲18.2%）と3期連続で前年を下回った。

（図39、統計表第4表）



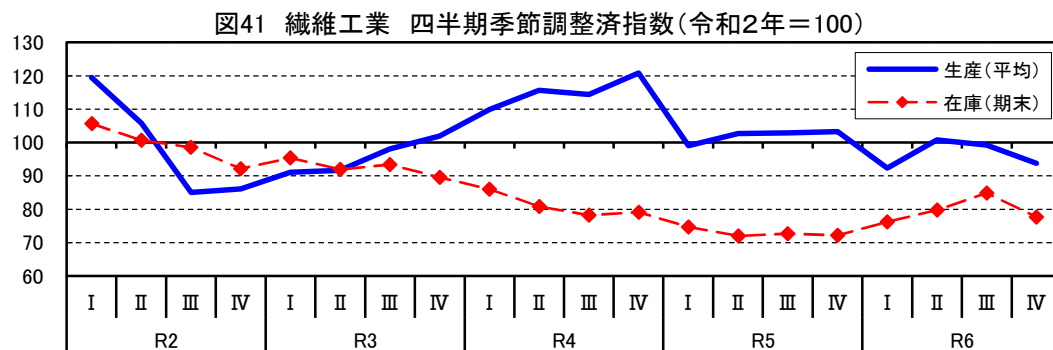
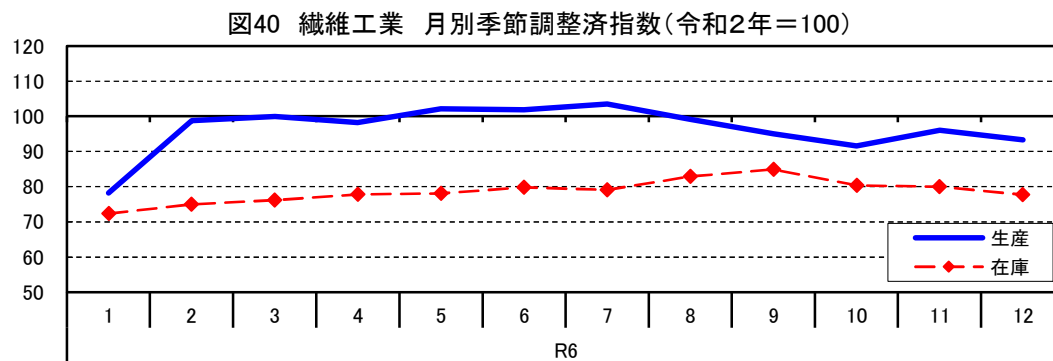
(11) 繊維工業

① 概 況

生産指数は前年比▲4.5%（寄与度▲0.07）で 97.3 となり、2 年連続で低下した。

在庫指数は前年末比 5.7%（寄与度 0.10）で 79.6 となり、5 年ぶりに上昇した。

（図 40、図 41、統計表第 3 表、統計表第 4 表）

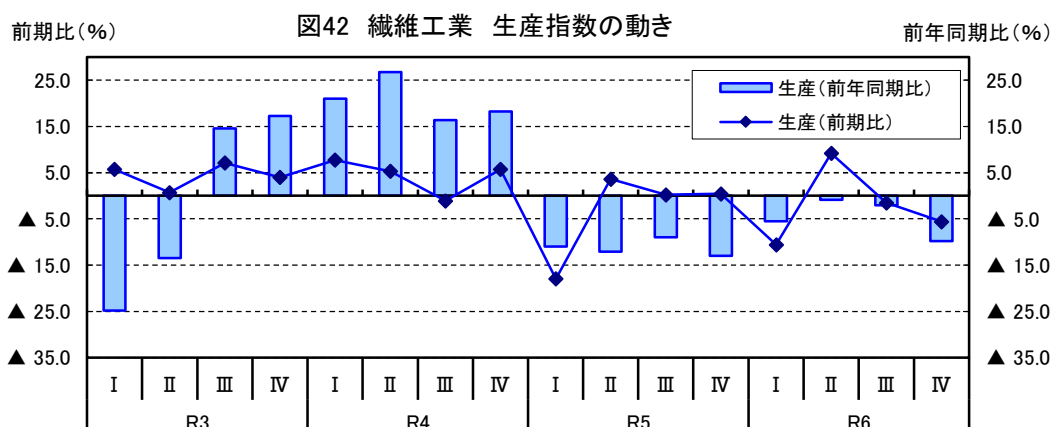


② 生産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲10.6%で 92.3 と令和 5 年Ⅰ期以降 4 期ぶりに低下し、Ⅱ期は同 9.2%の上昇で 100.8 となったが、Ⅲ期は同▲1.5%で 99.3 と 2 年ぶり 3 期連続で上昇したが、Ⅳ期は同▲5.6%で 93.7 と 2 期連続で低下した。

また、原指数は、Ⅰ期 95.5（前年同期比▲5.5%）、Ⅱ期 102.9（同▲0.9%）、Ⅲ期 99.9（同▲2.1%）、Ⅳ期 91.0（同▲9.8%）と令和 5 年Ⅰ期以降 8 期連続で前年を下回った。

（図 42、統計表第 3 表）

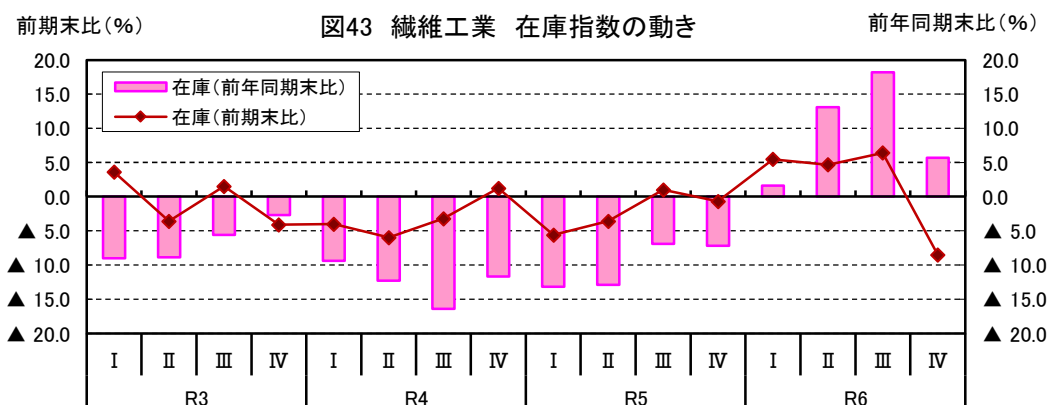


③ 在庫

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比 5.5%の上昇で 76.2、Ⅱ期は同 4.7%の上昇で 79.8、Ⅲ期は同 6.4%の上昇で 84.9 と 2 年ぶり 3 期連続で上昇したが、Ⅳ期は同▲8.5%で 77.7 と低下した。

また、原指数は、Ⅰ期 75.6（前年同期末比 1.6%）、Ⅱ期 80.4（同 13.1%）、Ⅲ期 85.7（同 18.2%）、Ⅳ期 79.6（同 5.7%）と令和 2 年Ⅱ期以降 15 期ぶり 4 期連続で前年を上回った。

（図 43、統計表第 4 表）。



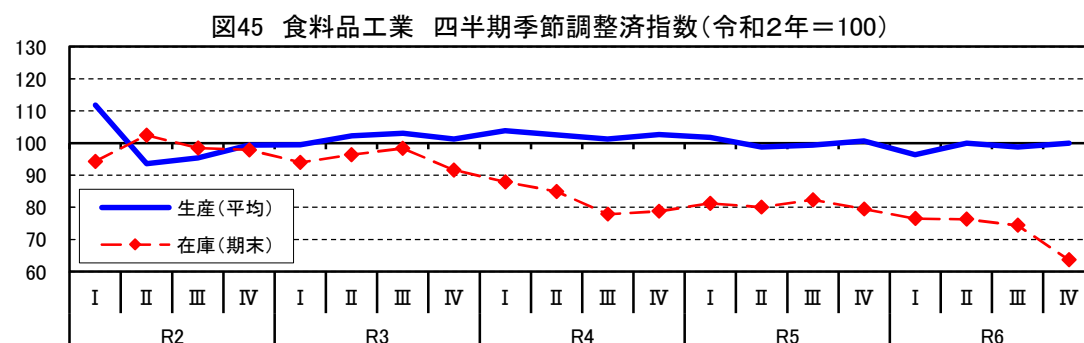
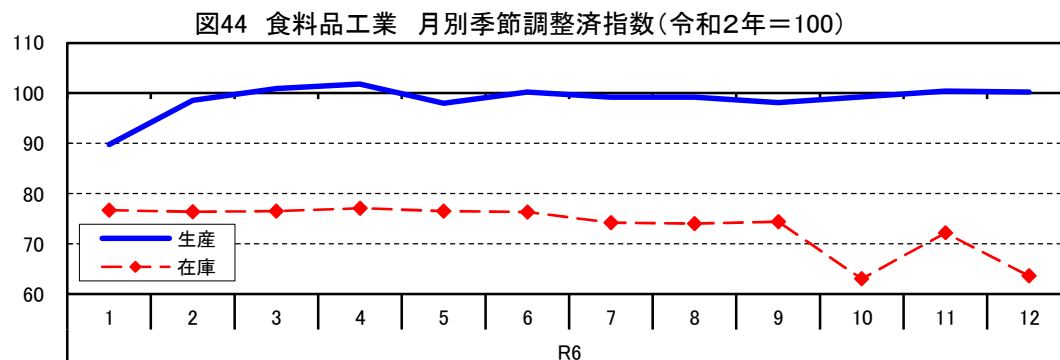
(12) 食料品工業

① 概 況

生産指数は前年比▲0.6%（寄与度▲0.03）で 99.6 となり、2 年連続で低下した。

在庫指数は前年末比▲20.7%（寄与度▲0.74）で 53.9 となり、4 年連続で低下した。

（図 44、図 45、統計表第 3 表、統計表第 4 表）

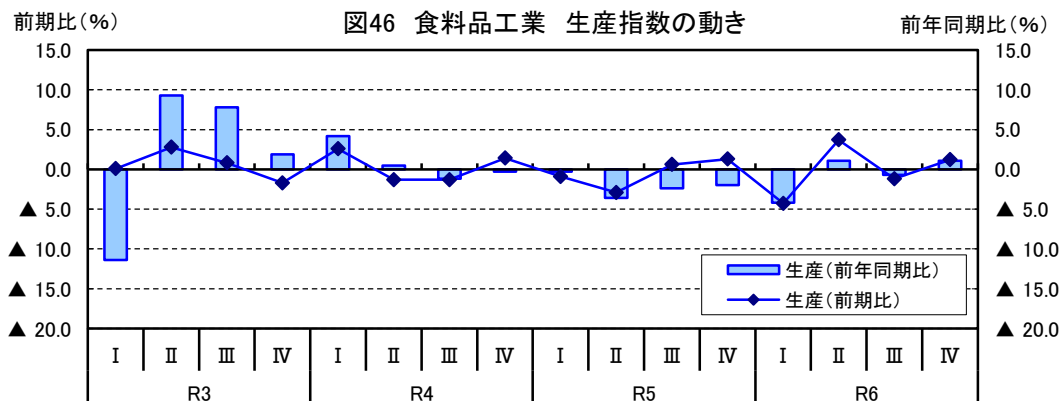


② 生産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲4.3%で 96.4 となり、Ⅱ期は同 3.7%の上昇で 100.0、Ⅲ期は同▲1.2%で 98.8 となったが、Ⅳ期は同 1.2%の上昇で 100.0 となった。

また、原指数は、Ⅰ期 91.5（前年同期比▲4.2%）、Ⅱ期 102.6（同 1.1%）と令和 4 年Ⅱ期以降 8 期ぶりに前年を上回ったが、Ⅲ期 98.5（同▲0.7%）となり、Ⅳ期 105.7（同 1.1%）と前年を上回った。

（図 46、統計表第 3 表）

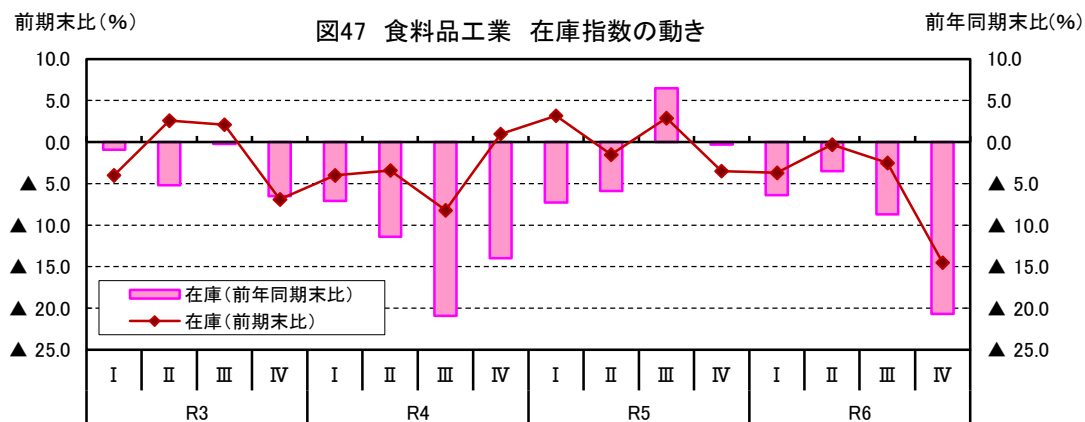


③ 在庫

四半期別季節調整済在庫指数は、Ⅰ期は前期比▲3.7%で 76.5、Ⅱ期は同▲0.3%で 76.3 となり、Ⅲ期は同▲2.5%で 74.4、Ⅳ期は同▲14.5%で 63.6 と令和 5 年Ⅳ期以降 5 期連続で低下した。

また、原指数は、Ⅰ期 77.0（前年同期末比▲6.4%）、Ⅱ期 82.9（同▲3.5%）、Ⅲ期 76.4（同▲8.7%）、Ⅳ期 53.9（同▲20.7%）と令和 5 年以降 5 期連続で前年を下回った。

（図 47、統計表第 4 表）



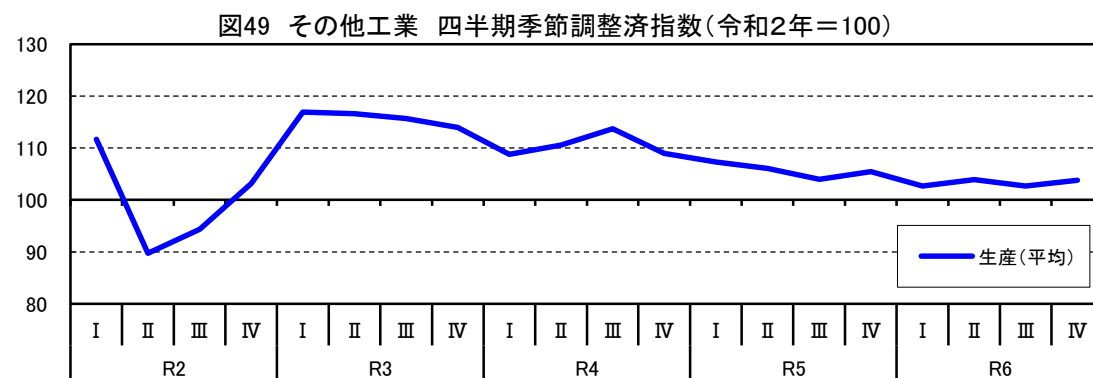
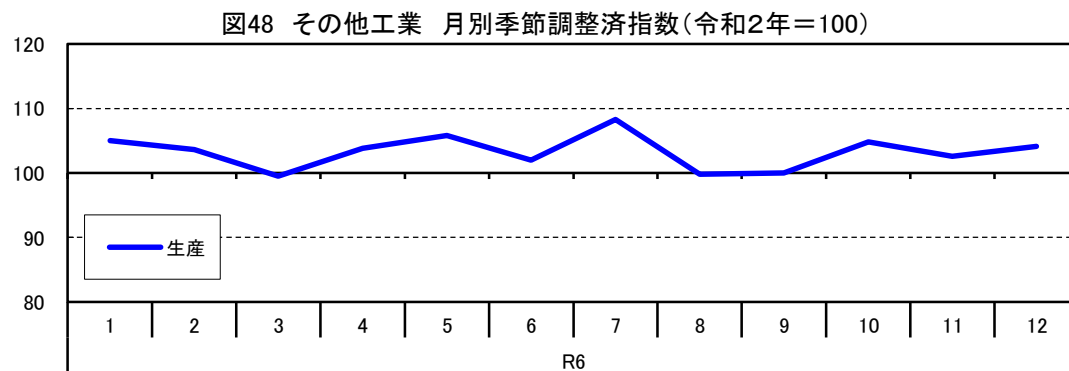
(13) その他工業

① 概 況

生産指数は前年比▲2.2%（寄与度▲0.12）で 103.4 となり、3 年連続で低下した。

在庫指数は 2 年ぶりに低下した。（指数値は秘匿のため非公表）

（図 48、図 49、統計表第 3 表）

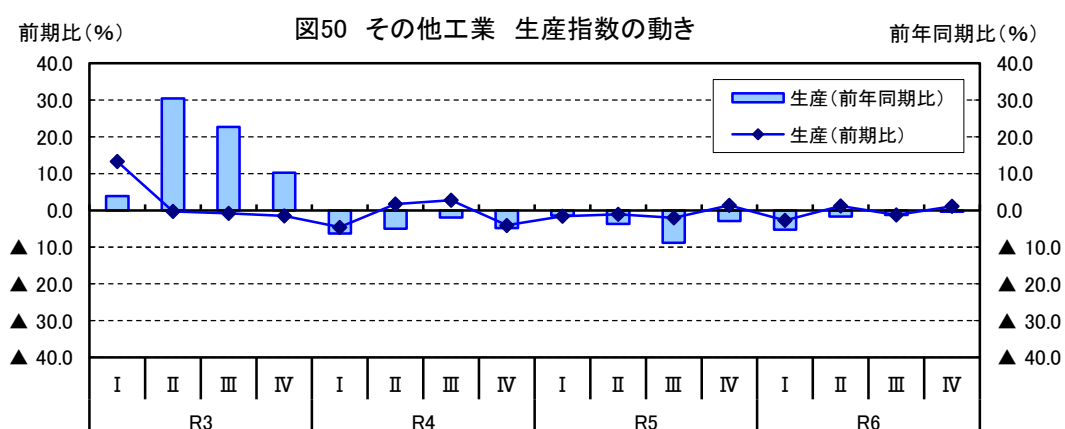


② 生 産

四半期別季節調整済生産指数は、Ⅰ期は前期比▲2.7%で102.7となり、Ⅱ期は同1.2%の上昇で103.9、Ⅲ期は同▲1.2%で102.7と低下したが、Ⅳ期は同1.1%の上昇で103.8となった。

また、原指数は、Ⅰ期102.0（前年同期比▲5.3%）、Ⅱ期103.2（同▲1.7%）、Ⅲ期98.7（同▲1.2%）、Ⅳ期109.7（同▲0.4%）と令和4年Ⅰ期以降12期連続で前年を下回った。

（図50、統計表第3表）



③ 在 庫

四半期別在庫指数の前期末比（季節調整済指数）は、Ⅰ期は低下し、Ⅱ期は上昇したが、Ⅲ期、Ⅳ期と2期連続で低下した。

また、前年同期末比（原指数）は、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期と3期連続で前年を上回ったが、Ⅳ期は前年を下回った。

3 財用途別動向

注：財用途別分類及び定義については P3「②特殊分類(財別)」を、品目については P15～16「業種別・財別品目一覧」を参照。

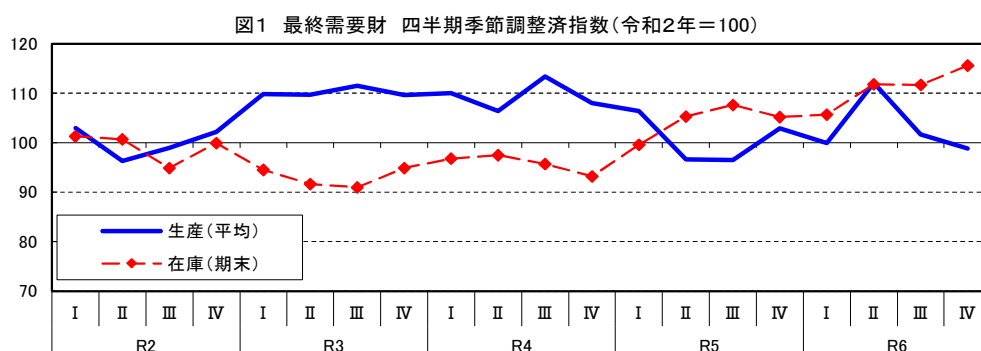
(1) 最終需要財

生産は前年比（原指数）2.2%の上昇で 103.2 となり、在庫は前年末比（原指数）10.5%の上昇で 112.2 となった。

また、生産指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲2.9%で 99.9、Ⅱ期は同 12.2%の上昇で 112.1 となり、Ⅲ期は同▲9.3%で 101.7、Ⅳ期は同▲2.9%で 98.8 と 2 期連続で低下した。

在庫指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期末比 0.5%の上昇で 105.7、Ⅱ期は同 5.8%の上昇で 111.8 と 2 期連続で上昇、Ⅲ期は同▲0.1%で 111.7、Ⅳ期は同 3.5%の上昇で 115.6 となった。

（図 1、統計表第 2 表・第 5 表・第 6 表）



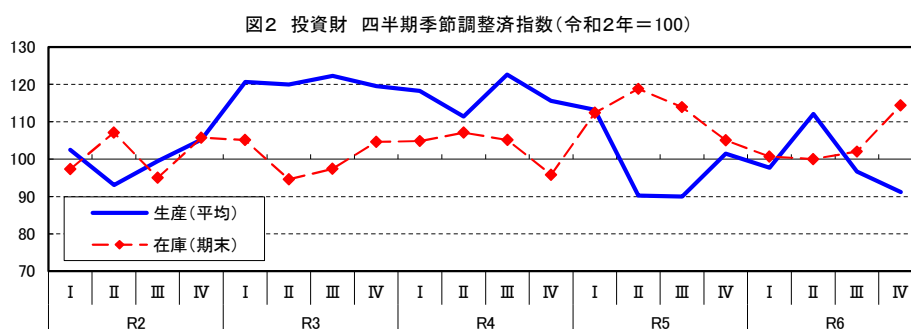
① 投資財

投資財全体では、生産が前年比（原指数）▲0.1%で 99.4 となり、在庫が前年末比（原指数）9.7%の上昇で 107.5 となった。

また、生産指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲3.6%で 97.7、Ⅱ期は同 14.7%の上昇で 112.1、Ⅲ期は同▲13.7%で 96.7、Ⅳ期は同▲ 5.7%で 91.2 と 2 期連続で低下した。

在庫指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲4.1%で 100.7、Ⅱ期は同▲0.7%で 100.0 と令和 5 年Ⅲ期以降 4 期連続で低下したが、Ⅲ期は同 2.0%の上昇で 102.0、Ⅳ期は同 12.2%の上昇で 114.4 と 2 期連続で上昇した。

（図 2、統計表第 2 表・第 5 表・第 6 表）

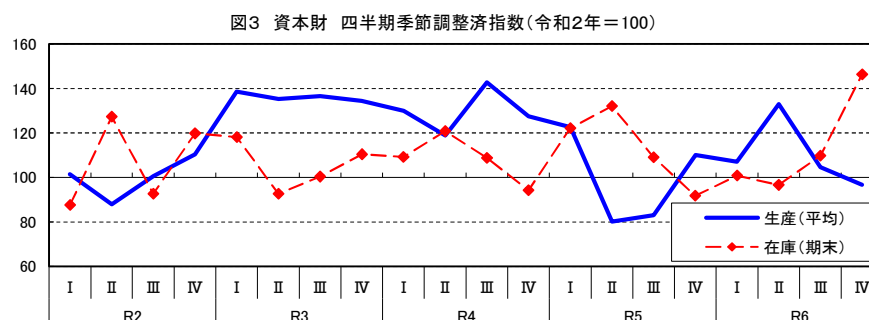


投資財のうち**資本財**は、生産が前年比（原指数）7.7%の上昇で 109.1 となり、在庫が前年末比（原指数）59.3%の上昇で 135.4 となった。

また、生産指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲2.8%で 107.0、Ⅱ期は同 24.3%の上昇で 133.0 となり、Ⅲ期は同▲21.4%で 104.6、Ⅳ期は同▲ 7.6%で 96.7 と 2 期連続で低下した。

在庫指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比 9.8%の上昇で 100.8、Ⅱ期は同▲4.2%で 96.6 となり、Ⅲ期は同 13.6%の上昇で 109.7、Ⅳ期は同 33.4 %の上昇で 146.3 と 2 期連続で上昇した。

（図 3、統計表第 2 表・第 5 表・第 6 表）

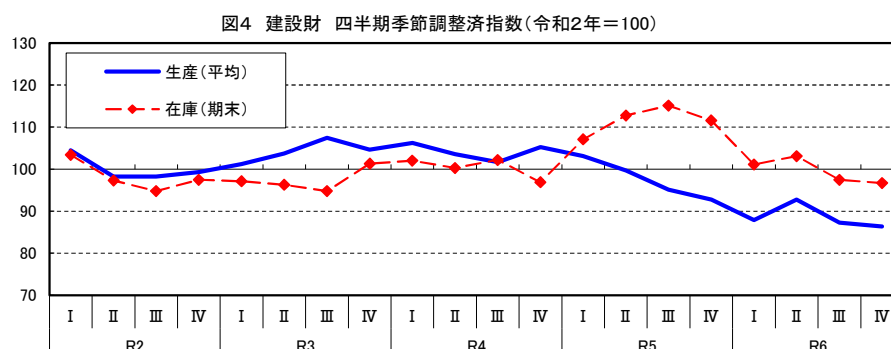


また、**建設財**は生産が前年比（原指数）▲8.5%で 89.3 となり、在庫が前年末比（原指数）▲12.4%で 92.2 となった。

また、生産指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲5.2%で 87.9、Ⅱ期は同 5.5%の上昇で 92.7 と令和 4 年Ⅳ期以降 6 期ぶりに上昇したが、Ⅲ期は同▲5.8%で 87.3、Ⅳ期は同▲1.1%で 86.3 と 2 期連続で低下した。

在庫指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲9.4%で 101.1、Ⅱ期は同 2.0%の上昇で 103.1 と令和 5 年 3 期以降 3 期ぶりに上昇したが、Ⅲ期は同▲5.4%で 97.5、Ⅳ期は同▲0.8%で 96.7 と 2 期連続で低下した。

（図 4、統計表第 2 表・第 5 表・第 6 表）



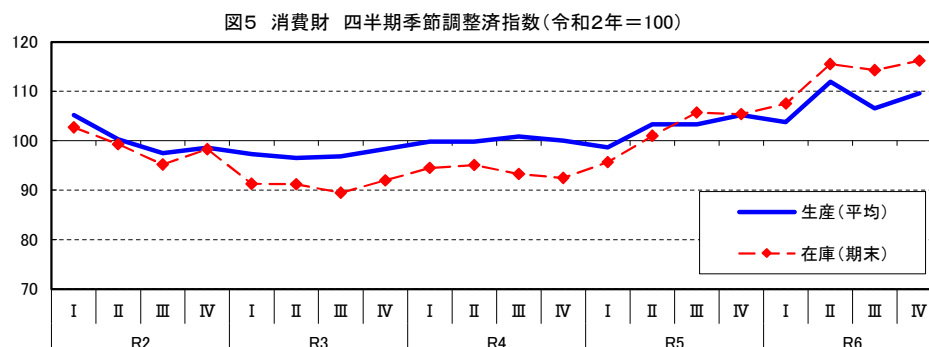
② 消費財

消費財全体では、生産が前年比（原指数）4.9.%の上昇で 108.0 となり、在庫が前年末比（原指数）10.7%の上昇で 113.6 となった。

また、生産指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲1.3%で 103.8、Ⅱ期は同 7.8%の上昇で 111.9、Ⅲ期は同▲4.7%で 106.6、Ⅳ期は同 2.8%の上昇で 109.6 となった。

在庫指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比 2.0%の上昇で 107.5、Ⅱ期は同 7.4%の上昇で 115.5 と 2 期連続で上昇したが、Ⅲ期は同▲1.0%で 114.3、Ⅳ期は同 1.7%の上昇で 116.2 となった。

（図 5、統計表第 2 表・第 5 表・第 6 表）



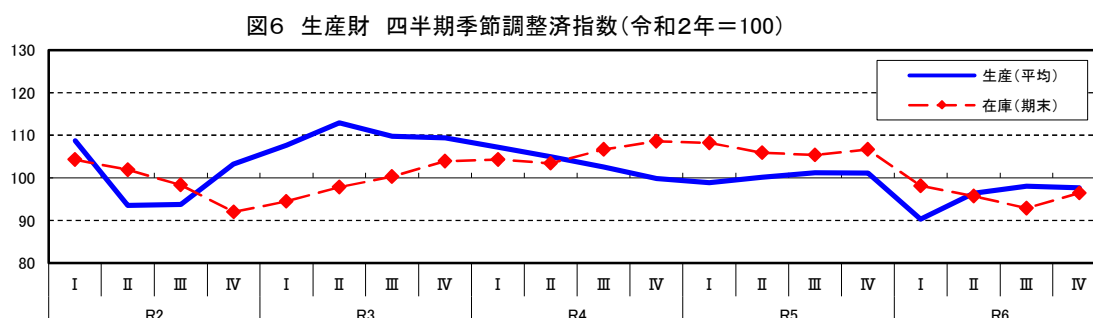
(2) 生産財

生産財全体では、生産が前年比（原指数）▲4.5%で 95.7 となり、在庫が前年末比（原指数）▲9.7%で 93.5 となった。

また、生産指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲10.7%で 90.3 と令和 5 年 4 期以降 2 期連続で低下、Ⅱ期は同 6.8%の上昇で 96.4、Ⅲ期は同 1.8%の上昇で 98.1 と 2 期連続で上昇したが、Ⅳ期は同▲0.5%で 97.6 となった。

在庫指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲8.1%で 98.1、Ⅱ期は同▲2.4%で 95.7、Ⅲ期は同▲2.9%で 92.9 と 3 期連続で低下したが、Ⅳ期は同 3.8%の上昇で 96.4 となった。

(図 6、統計表第 2 表・第 5 表・第 6 表)



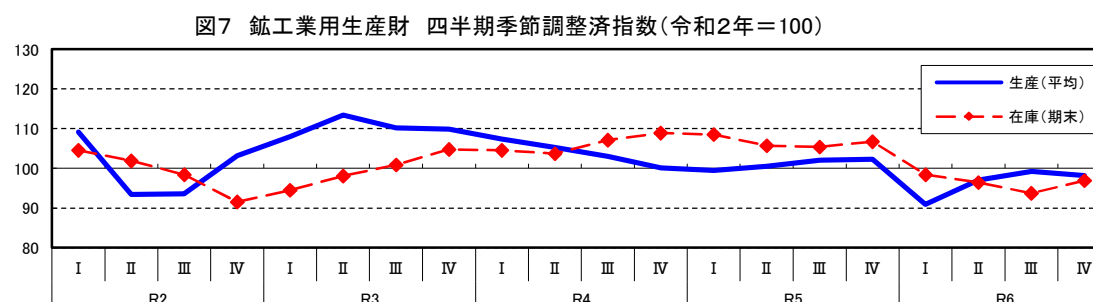
① 鉱工業用生産財

生産財のうち**鉱工業用生産財**は、生産が前年比（原指数）▲4.5%で 96.4 となり、在庫が前年末比（原指数）▲9.3%で 93.7 となった。

また、生産指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲11.1%で 90.9、Ⅱ期は同 6.7%の上昇で 97.0、Ⅲ期は同 2.3%の上昇で 99.2 と 2 期連続で上昇したが、Ⅳ期は同▲1.0%で 98.2 と低下した。

在庫指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲7.8%で 98.4、Ⅱ期は同▲2.0%で 96.4、Ⅲ期は同▲2.8%で 93.7 と 3 期連続で低下したが、Ⅳ期は同 3.4%の上昇で 96.9 となった。

(図 7、統計表第 2 表・第 5 表・第 6 表)



② その他用生産財

また、**その他用生産財**は、生産が前年比（原指数）▲4.6%で 76.1 となり、在庫が前年未比（原指数）▲18.9%で 88.3 となった。

また、生産指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比 5.5%の上昇で 76.1 となり、Ⅱ期は同 5.1%の上昇で 80.0 と 2 期連続で上昇したが、Ⅲ期は同▲18.3%で 65.4 となり、Ⅳ期は同 23.5%の上昇で 80.8 となった。

在庫指数（季節調整済指数）を四半期別にみると、Ⅰ期は前期比▲13.2%で 93.1、Ⅱ期は同▲13.0%で 81.0、Ⅲ期は同▲8.8%で 73.9 と 3 期連続で低下したが、Ⅳ期は同 18.1%の上昇で 87.3 となった。

（図 8、統計表第 2 表・第 5 表・第 6 表）

